

会長のページ 産業と医療	河野 雅行	3
日州医談 災害医療における課題と医師会の役割	佐々木幸二	4
エコ・リレー(502)	山中 聡, 高城 一郎	6
メディアの目 岐路に立つ部活	牧野 達夫	12
宮崎大学医学部だより(外科学講座)	旭吉 雅秀, 池田 拓人, 守永 圭吾	13
専門分科医会だより(眼科医会)	柴田 博	16
診療メモ AMR(薬剤耐性)について	山中 篤志	68

あなたできますか?(平成28年度医師国家試験問題より)	7
宮崎県感染症発生動向	8
各郡市医師会だより	10
第18回都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会 「平成29年度介護報酬改定および地域支援事業の推進について」	18
平成29年度「All Miyazaki研修医スタートアップセミナー& ウェルカムパーティ」開催報告	24
日医インターネットニュースから	28
ベストセラー	31
理事会日誌	32
県医の動き	37
追悼のことば	38
会員の異動・変更報告	41
ドクターバンク情報	45
行事予定	51
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	53
宮大医学部学生のページ	70
あ と が き	74

~~~~~

|                          |    |
|--------------------------|----|
| お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集        | 17 |
| 宮崎県医師会メーリングリストのご案内       | 23 |
| 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ      | 26 |
| 第18回宮崎県医師会医家芸術展          | 30 |
| 医療事故調査制度 相談窓口            | 31 |
| クールビズについて                | 36 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています   | 49 |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター        | 67 |
| 宮崎県医師会医療情報コーナー           | 71 |
| 郡市医師会への送付文書              | 72 |
| 告 知 第166回宮崎県医師会定例代議員会開催  | 27 |
| ご 案 内 平成29年度第74回宮崎県医師会総会 | 27 |

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

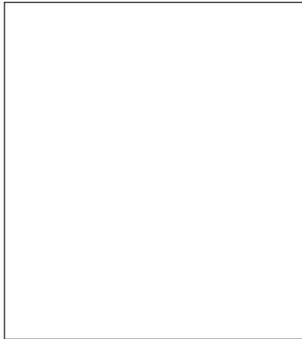
初夏のバラ

初夏の晴れた日の、爽やかなバラの香りにつつまれ、新緑と今咲き誇る美しいバラの輝きに感動して、この風景を油絵で表現したいとの思いで描いております。

日州医事に載せていただきまして感謝しております。 都城市 さか酒 い井 みわこ美絵子

## 会長のページ

## 産業と医療

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

若者人口の減少に比例して労働力減少による経済力の低下が懸念されています。産業活動を巡り最近、ニュースで頻繁に目にするのが、時間外労働を主とした過重労働、職場でのストレスによる様々な疾病の存在です。先日は有名企業で新入社員の過労による自殺が話題となりました。その他にもあらゆる職場で過重労働・ストレスにより体調不良を来したり、高血圧、糖尿病、心疾患等の生活習慣病を始め、様々な疾病や精神疾患の増加も問題となっています。

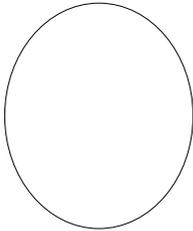
現代は医学の進歩・生活環境の改善により、老化速度が遅くなっていると言われ、以前よりも高齢でも就業可能と思われます。法的にも定年延長が規定され、既に多くの企業で実施されています。これは老齢年金の給付開始延長によることも関連していますし、ある程度の仕事は健康に良いかもしれません。

労働者の中には様々な疾病や障害を抱えている人もいますが、治療や支援を受けながら業種・時間の調整をすることにより退職せずに就業可能となるはずです。我が国では女性の場合、出産・育児を契機として専業主婦となる例が多くありました。仕事と子育ての両立は大変ですが、子育てをしながら就業し続けられる、若しくは再就業出来るような社会を目指す工夫も必要です。産休・育休を理由として待遇等に男女間の差があってはなりません。

労働者の待遇改善の一策として、労働時間に制限を設け、残業等の過重労働を減少させる取組みも始まりました。残業が多いと「ブラック企業」の有り難くない名称を課せられかねません。この取組みは医療従事者にも適用されつつあります。特に医師については今まで、問題視はされても諸般の事情からほとんど改善されていませんでしたが、日医も重要課題として対策を講じ始めました。この件は後日、稿を改めて述べたいと思います。

いずれにしても職場における医療の役割はますます重要となっております。増加する精神疾患から職場におけるストレスチェックも始まりました。経済の浮沈を決めるのは労働者の健康問題であるといっても過言ではありません。日医でも産業保健を重視して日医認定産業医制度を発足させており、宮崎県医師会でも産業医部会・産業保健連絡協議会を立ち上げて対応しています。現在県内の日医認定産業医は483名です。日医では認定産業医制度の目的は産業医の資質向上と共に、あくまでも地域保健活動の一環であるとしています。日医認定産業医を取得するためには、労働安全衛生規則に指定された研修を受ける必要があります。前期研修、実地研修、後期研修等ですが、前述しましたように産業に関する医療の重要性から、先生方も是非日医認定産業医を取得されては如何でしょうか。（平成29年5月22日）

## 日州医談



## 災害医療における課題と医師会の役割

常任理事 佐々木 幸二

日本の災害医療体制は1979年のカンボジアの難民へのJMT(医療チーム)派遣支援の経験と反省から、1982年に日本政府は関係省庁やJICA(国際協力機構)などととも海外の大規模災害などの発生に対し速やかに医療チームを編成し被災地に派遣することを目的にJMTDR(国際緊急医療チーム)を立ち上げた。そして、総合的な国際救援体制の必要から1987年にJDR(国際緊急援助隊)が発足し、派遣に関する法律が施行された(JDR法)。さらに、1992年に一部改正され、PKO法制定と同時に自衛隊部隊の派遣が可能になった。

国内では、1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災を契機に災害医療における整備が進んできた。

**阪神・淡路大震災から得られた医療面での教訓**

- 1) 通信の混乱, 情報収集が困難
- 2) 患者搬送, 医療物資の供給が困難
- 3) 診療機能が低下した医療機関が多数
- 4) トリアージの未実施, 医療資源の活用が不十分
- 5) 防災訓練や備蓄等の事前対策が不十分
- 6) 救護班の配置調整, 避難所への巡回健康相談等が評価
- 7) PTSD対策, 感染症対策, 生活環境対策が重要な問題

**DMAT JMATの提言, 結成, 成果と課題**

乏しい医療資源の状況下, 平時の救急医療レベルの医療が提供されていれば, 救命できたと考えられるpreventable death「防ぎえた災害死」が約500名存在したと報告された。災害時に重要なことは人命救助, 医療確保が基本的考え方である。

“一人でも多くの命を助けよう”という思いで2005年4月に, DMATは厚生労働省によって発足された。そして, その後の震災時に全国から派遣され, 広域医療搬送・SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)・病院支援・域内搬送・現場活動などで多くの成果を上げた。2010年3月, 日本医師会(以下, 日医)長の諮問機関である救急災害医療対策委員会(以下, 対策委員会)は, 日医は最大の医師の職能団体であり, また全ての地域医師会を束ねる立場にあるにもかかわらず, 災害発生直後において被災現場等での災害医療活動を実行する能力に欠けていた事を指摘した。そして, JMATが提言されたが, 整備を待たず2011年3月11日東日本大震災が発生した。そのため, 同15日直ちに結成された。そしてDMATを引き継いで, 避難所・救護所における医療担当等において重要な役割を果たした。

しかしながら, 幾つかの解決すべき課題が残った。東日本大震災では急性期以降の震災関連死や公衆衛生的問題, 後の熊本地震では車中泊によるDVT(深部静脈血栓症), また様々な災害医療チームが自発的に或いは派遣で被災地に参集したものの, 指揮命令統系が円滑に進まなかった等々…。

**医師会がなぜ災害医療を担う使命があるのか?**

- 1) 2014年8月, 日医は, 災害対策基本法上の「指定公共機関」の指定を受けた。災害医療は, 災害の初期段階だけでなく, 事前の準備, 発生直後でDMATの到着前, 急性期以降, 被災地の復興までの各段階も重要である。そのため, 対策委員会は国の災害対策行政の中に, 医療を代表する団体の参画が必要

だということで、日医の指定を求めてきた。今般の指定は、東日本大震災におけるJMAT活動が、日医の災害対応実行能力として評価された結果と思われる。

2) さらに2015年6月、横倉日医会長が災害対策基本法上の中央防災会議の委員に就任した。その役割は、防災基本計画を作成実施し、担当大臣の諮問に応じて防災に関する事項を審議し意見を述べることなどである。

日医は“All Hazard Approach”の概念の下で次の大規模災害に備え重要な責務を負ったということである。また同時に「被災者健康支援連絡協議会」の代表として、防災関係者間の連携強化に努めていくべき使命をも負った訳でもある。

**南海トラフ地震などへ災害対策が進む中**2016年4月14日まさかの熊本地震が起きた。九医連では救護協定に基づく防災訓練を予定していた矢先で、しかも担当県は熊本であった。2つの地震の経験が試される結果となったが、やはり課題を残した。

**過去の災害対応の経験や課題を審議した上で**、石川日医常任理事は、2016年11月30日に松本純内閣府特命担当大臣に提出した「災害医療を国家として統合するための提言」の中で①様々な災害医療チームがあること、②国家施策に医療の視点が不十分、③学術的根拠を提供する研究活動が国際的にみて極めて低調、④テロの形態が未想定であり対応が不備、⑤医療者の院外活動に関して法的、環境的に未整備等の5つの課題に対して、日医としての取組みと今後の方向性を説明した。その上でこれからの時代は、地域包括ケア、医療と介護・福祉の連携も視野に入れつつ、幅広い防災行政の中で、被災者の生命や健康を守る医療の位置づけを高める等と強調した。

**それでは大規模災害に備え医師会は何をしなければならぬのか？**災害医療では医療資源の乏しい被災地の要請に応じ医療チーム等を派遣支援し、急性期重症の被災者を資源の豊富な被災地外へ広域医療搬送するのが基本とされるが、発災直後から収束期までのいくつもの段階

で、そのフェーズに特有な傷病への対応が重要である。地域医師会は各段階で関わり、災害時医療システムが円滑に機能するよう平時から組織力、情報収集力を高め、防災行政、保健所、地域包括支援センター等との連携をしておくことが重要である。建設予定の宮崎県防災拠点庁舎内に医療班デスクを設置し、統括DMATや災害コーディネータと医師会が協力して災害医療チーム全体の指揮が取れる(ICS：インシデント・コマンド・システム)ように司令塔の構築が必須である。

**かかりつけ医は被災地において被災者に最も近く、災害弱者である患者の医療情報を管理しており、また土地勘を活かして、発災ゼロ時点からDMATが来るまでの間の早期からのトリアージ等Priority(治療優先順位)決定や医療救護活動に指揮者として関わっていくことが望まれる。**地域防災計画に協力し、公助に限りがある場合は自助、共助に努めたい。もちろん医師自身の生命と健康が前提であるが、自病院の診療機能を確保(BCP)不可能時は、救護所等で医療活動できるように、平時から災害医療の教育、研修、防災訓練等を行うことが大事で、また緊急時備蓄、病医院の耐震化も必要である。過去の災害課題の省察、教訓の伝承は不可欠である。

**展望としては**、災害医学に関する知見を集積し、その学術的根拠を背景として災害医療の統合を実現するために、国家的研究機構の設立が渴求される。

『国際医療貢献・病院船団』の実現、或いは『どこでもMY病院構想』や『ブルーボタン・イニシアティブ』といった個人健康情報開示に関する新たな情報通信技術戦略も災害時には期待される。

**日医救急災害医療対策委員会の今期の諮問事項は以下の通りで、現在審議中である。**

- (1)地域の救急災害医療におけるかかりつけ医の役割～地域包括ケアシステムにおける災害医療を中心に～
- (2)JMAT活動の課題と対策～コーディネータ機能を～

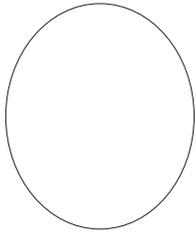
# エコー・リレー

(502回)

(南から北へ北から南へ)

## ポケモン探し

川南町 川南病院 <sup>やま なか さとし</sup>  
山 中 聡



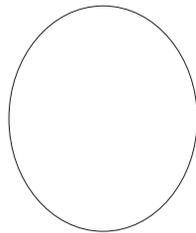
2016年7月22日が何の日かご存知ですか。「ポケモンGO」が配信開始になった日です。この日から、私と三女のポケモン集めが始まった。二人で散歩がてらにポケモンを探しに行った。また、レアポケモ

ンの出現率が高いサンビーチツ葉にも、二人で度々足を向けた。泳ぐ目的以外で、訪れることになるとは思っていなかった。そんな娘も、三か月を過ぎた頃には、ポケモン探しに飽きてしまった。そこから、一人寂しいポケモン探しが始まった。東京で一人始発電車に乗り、ポケモンの巣である公園を探索したこともあった。暗闇の中、iPadを片手に歩き回り、不審者と思われぬように、あえて会う人会う人に挨拶をした。明るくなると、ラジオ体操をしている集団に出会い、俺は何をしているのだろうと思いつつ、どんよりとした気持ちで駅に向かった。駅の近くで、またレアポケモンをゲットして、やっぱり来て良かったと自分を納得させたりした。現在、「ポケモンGO」をプレイしているユーザーは、最盛期の5分の1になり、40代以上の中高年、シニア層がメインになっているとのこと。40代の私が今も続けているのは、スーパーカー消しゴム等でみせた子供の頃の収集癖や、運動不足解消をという思いが関係しているかもしれない。最近では、イベント等があるときに娘がポケモン探しに加わってくれる。これからも、レアポケモンや「ポケモンGO」で痩せるというバーチャルを追い求め続けていこうと考えている。

[次回は、宮崎市の鶴田 和仁先生をお願いします]

## 「執事」の精神

宮崎市 宮崎大学医学部 <sup>たか じょう いち ろう</sup>  
附属病院 高 城 一 郎



私は大学病院で感染制御部の仕事にも携わっていますが、抗菌薬の適正使用を推進するための取組みとして antimicrobial stewardship という言葉があります。“抗菌薬を正しく使う手助けをす

る” という意味です。ここで用いられている Steward は「執事」を指します。「執事」は自分のお客様となる主人(主治医)が何を望んでいるのかをしっかりと汲み取り、常に先回りして喜んでいただけるサービス(抗菌薬についての情報)を提供しなくてはならないのです。主治医の邪魔をせず、そっとサポートするというニュアンスが込められているのではないかと思います。このような「執事」の仕事は、サービス業につながるものを感じます。

私は米・酒屋の長男として生まれました。小学校から帰ってきてランドセルを置いたら、店番という日もありました。配達にも付き添っていました。「いらっしやいませ」「ありがとうございました」が日常の言葉のなか、お客様に喜んでいただくことを常に考えている家族、従業員をみて、サービス業というものはどうあるべきか子供の頃から身に染みて育ちました。お店でお客様が喜んでいただける米・酒の情報を提供するという点で、米・酒が抗菌薬のことになったと思えば、店は継ぎませんが、精神は継いだといえるのでしょうか。良い「執事」になれるように精進していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

[次回は、宮崎市の熊原 恵一郎先生をお願いします]



## あなたできますか？

—平成28年度 医師国家試験問題より—

(解答は44ページ)

- 1 神経線維腫症1型(Von Recklinghausen病)について正しいのはどれか。
  - a 聴神経腫瘍を合併する。
  - b 脊椎の変形は幼児期から発症する。
  - c 神経線維腫は学童期以降に出現する。
  - d café au lait斑は生後6か月以降に出現する。
  - e café au lait斑の数と神経線維腫の数は相関する。
- 2 正常妊娠で妊娠初期に比べ後期に低下するのはどれか。
  - a 循環血液量
  - b 空腹時血糖
  - c 血中プロラクチン
  - d 血中コレステロール
  - e 血中アルカリフォスファターゼ
- 3 妊娠12週の女性に比較的安全に使用できる抗菌薬はどれか。
  - a セフェム系
  - b キノロン系
  - c アミノグリコシド系
  - d テトラサイクリン系
  - e クロラムフェニコール系
- 4 手根管症候群で筋力低下がみられるのはどれか。
  - a 方形回内筋
  - b 母指内転筋
  - c 短母指伸筋
  - d 短母指外転筋
  - e 第一背側骨間筋
- 5 嘔吐の後に急に発症するのはどれか。2つ選べ。
  - a 食道アカラシア
  - b 特発性食道破裂
  - c Bochdalek孔ヘルニア
  - d 機能性ディスペプシア
  - e Mallory-Weiss症候群
- 6 医療法で規定されているのはどれか。
  - a 応招義務
  - b 医業の独占
  - c 医師臨床研修
  - d 異状死体の届出義務
  - e 医療機関の管理者要件
- 7 乏尿をきたすのはどれか。
  - a 糖尿病
  - b SIADH
  - c 急性腎不全
  - d 低カリウム血症
  - e 高カルシウム血症
- 8 28歳の初産婦。産褥2日で入院中である。妊娠39週2日に陣痛発来したが、分娩停止のため緊急帝王切開が行われた。  
この患者の身体所見で直ちに精密検査が必要なのはどれか。
  - a 乳房腫脹
  - b 子宮の圧痛
  - c 赤色悪露の排出
  - d 子宮底臍下3cm
  - e 下腿の腫脹と疼痛
- 9 間接ビリルビン優位の黄疸を呈するのはどれか。
  - a 肝硬変
  - b 肝細胞癌
  - c 急性肝炎
  - d 臍頭部癌
  - e 溶血性貧血
- 10 尿路結石の再発予防に有用なのはどれか。2つ選べ。
  - a プリン体の摂取
  - b ビタミンCの摂取
  - c クエン酸製剤の内服
  - d カルシウムの摂取制限
  - e 1日2L以上の水分摂取

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 4 月 ～

平成29年 4 月 3 日～平成29年 4 月30日(第14週～第17週)

### ■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核19例：保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が13例，無症状病原体保有者が 4 例，疑似症患者が 2 例であった【表 1】。患者は肺結核が10例，その他の結核(結核性胸膜炎，結核性リンパ節炎)が 3 例であった。性別は男性13例・女性 6 例で，年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類：○腸管出血性大腸菌感染症 2 例：宮崎市保健所管内から報告があった。

- ・20歳代で，無症状病原体保有者であった。原因菌のO血清型は不明(VT1，2産生)であった。
- ・40歳代で，無症状病原体保有者であった。原因菌のO血清型はO91(VT1，2産生)であった。

4 類：○E型肝炎 1 例：日向保健所管内から報告があった。70歳代男性で，主な症状として発熱，全身倦怠感，食欲不振，黄疸，肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症 1 例：延岡保健所管内から報告があった。80歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として，発熱，呼吸困難，肺炎がみられた。

5 類：○水痘(入院例) 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。10歳代で，主な症状として発熱，発疹，熱性痙攣がみられた。水痘のワクチン接種歴はなかった。

### ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は4,376人(定点あたり117.1)で，前月の68%と減少したが，例年比では103%とほぼ横ばいであった。

前月に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎(ロタウイルス)と手足口病で，減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，手足口病及び感染性胃腸炎(ロタウイルス)であった。

インフルエンザの報告数は1,630人(27.6)で前月の約0.3倍，例年の約1.7倍であった。小林(68.0)，日南(41.0)，中央(27.5)保健所からの報告が多く，年齢別では5歳未満が全体の22%，5～9歳が34%，10～14歳が17%，15～19歳が2%，20～59歳が20%，60歳以上が5%を占めた。

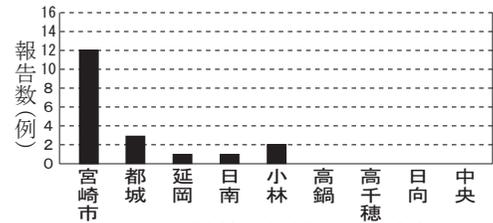


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 肺結核                     | 10 |
| その他の結核(結核性胸膜炎，結核性リンパ節炎) | 3  |
| 無症状病原体保有者               | 4  |
| 疑似症患者                   | 2  |

表 2 結核 年齢別報告数

| 年齢   | 報告数(人) |
|------|--------|
| 30歳代 | 1      |
| 40歳代 | 2      |
| 50歳代 | 1      |
| 60歳代 | 2      |
| 70歳代 | 5      |
| 80歳代 | 5      |
| 90歳代 | 3      |

### 前月との比較

|                | 2017年 4 月 |          | 2017年 3 月 |          | 例年との比較 |
|----------------|-----------|----------|-----------|----------|--------|
|                | 報告数(人)    | 定点当たり(人) | 報告数(人)    | 定点当たり(人) |        |
| インフルエンザ        | 1,630     | 27.6     | 5,086     | 86.2     | ★      |
| RSウイルス感染症      | 78        | 2.2      | 116       | 3.2      |        |
| 咽頭結膜熱          | 92        | 2.6      | 122       | 3.4      |        |
| ※溶レン菌咽頭炎       | 394       | 10.9     | 399       | 11.1     |        |
| 感染性胃腸炎         | 1,493     | 41.5     | 1,614     | 44.8     |        |
| 水痘             | 73        | 2.0      | 66        | 1.8      |        |
| 手足口病           | 322       | 8.9      | 180       | 5.0      | ★      |
| 伝染性紅斑          | 22        | 0.6      | 50        | 1.4      |        |
| 突発性発しん         | 121       | 3.4      | 127       | 3.5      |        |
| 百日咳            | 1         | 0.0      | 2         | 0.1      |        |
| ヘルパンギーナ        | 22        | 0.6      | 11        | 0.3      |        |
| 流行性耳下腺炎        | 34        | 0.9      | 40        | 1.1      |        |
| 急性出血性結膜炎       | 1         | 0.2      | 0         | 0.0      |        |
| 流行性角結膜炎        | 40        | 8.0      | 36        | 7.2      |        |
| 細菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 無菌性髄膜炎         | 1         | 0.1      | 0         | 0.0      |        |
| マイコプラズマ肺炎      | 0         | 0.0      | 2         | 0.3      |        |
| クラミジア肺炎        | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 52        | 7.4      | 22        | 3.1      | ★      |

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

手足口病の報告数は322人(8.9)で前月の約1.8倍、例年の約2.1倍であった。都城(29.0)、小林(18.7)、宮崎市(6.3)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳以下が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)の報告数は52人(7.4)で前月の約2.4倍、例年の約3.9倍であった。宮崎市(27.0)、延岡、高鍋(各8.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約6割を占めた。

### ■月報告対象疾患の発生動向 〈2017年4月〉

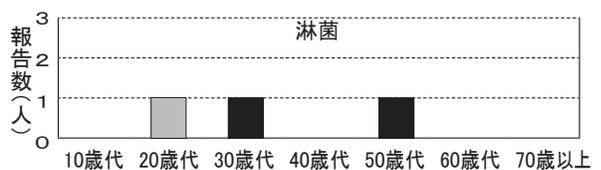
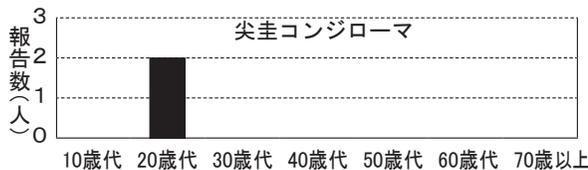
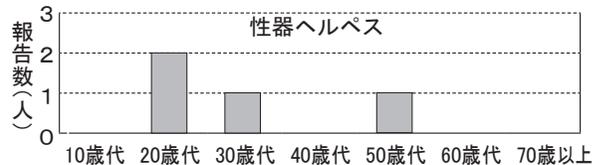
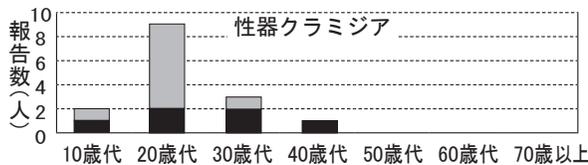
#### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は24人(1.9)で、前月比86%と減少した。また、昨年4月(2.2)の83%である。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月の約0.8倍、昨年4月の約0.9倍である。20歳代が全体の6割を占めた(男性6人・女性9人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の1.0倍、昨年4月の約1.3倍である(女性4人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の2.0倍、昨年4月の0.4倍である(男性2人)。
- 淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月の約0.8倍、昨年4月の約0.8倍である(男性2人・女性1人)。



■男 ■女

#### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で前月比58%と減少した。また昨年4月(3.0)の約0.7倍である。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月の約0.6倍、昨年4月の約0.8倍である。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

### ■病原体検出情報(微生物部)

|      | 検出病原体                                 | 件 |
|------|---------------------------------------|---|
| ウイルス | コクサッキーウイルスA6型                         | 2 |
|      | コクサッキーウイルスA16型                        | 1 |
|      | アデノウイルス5型                             | 1 |
|      | ヒトヘルペスウイルス7                           | 2 |
|      | インフルエンザウイルスAH3                        | 4 |
|      | インフルエンザウイルスB型(ビクトリア系統)                | 1 |
|      | ライノウイルス                               | 4 |
|      | ヒトメタニューモウイルス                          | 1 |
|      | パラインフルエンザウイルス1型                       | 1 |
| 細菌   | <i>Legionella pneumophila</i> SG3     | 1 |
|      | 腸管病原性大腸菌(EPEC) (OUT:HUT)              | 3 |
|      | <i>Neisseria meningitidis</i> (血清群不明) | 1 |
|      | <i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)    | 1 |

## 各都市医師会だより

### 西都市西児湯医師会

ストレスチェック制度が開始された。解説のための講演会やテキスト配布はあったが、施行上の不安が消えることはなくいつも心細かった。今回始まってみると、想像以上に事業所の方々が私を助けて下さりとても有難かった。

平成29年2月、押川修一郎氏(62)が西都市長に就任。新市長が誕生した。平成30年度から、県立高校である妻高等学校と西都商業高校の合併が決定。平成29年4月、それぞれの学校で最後の入学式が執り行われた。

さて、西都市では、例年通りいろいろな研修会、講演会が開催されている。内容に関しては今回も特段の変化はないと思うが、いつもながらコメディカルの方々の参加も多い。

また、最近の介護保険制度に関する研修会などではケアマネジャーやサービス事業者、行政などいわゆる多職種の方々が一堂に会され、連携により利用者を支えるきっかけづくりにも役立っている。

さて、医療センターに関することであるが、平成28年度、地方独立行政法人の設立と並行して、施設整備に関する基本構想も策定され、その中で新病院建設までの耐震機能強化として現施設の耐震補強も行うことが西都市で検討されている。今年度は新病院の規模、建設場所、診療科、予算など施設整備基本計画を策定します。

(水田 能久)

### 宮崎市郡医師会

真に医師同士が連携し、医療・介護・福祉の分野でコーディネート役を担う中心部会として4月15日、「宮崎市郡在宅医会(通称 宮崎在宅ドクターネット)」が設立されました。不在時サポートなど医師同士の負担を軽減し、在宅医の質と量を確保するための研修会開催、医療介護の相談窓口機能、関係団体および行政との連携強化などを事業とし、医療機関同士の24時間支援体制のシステム稼働、分野別専門医による支援体制の確立、在宅での看取り支援体制の確立を目指しています。

(牛谷 義秀)

### 都城市北諸県郡医師会

昨年より、学術を担当しています。県内では、学術講演会は宮崎市内で開催されることが

多いですが、都城でもかなり頻回に開催されています。日程の関係で、平日になかなか参加できないかかりつけ医にとって、貴重な最新の医学知識を学べる機会だと思っています。担当になって、できるだけ講演会の回数を増やそうと努力しています。最近、他地区の先生方、特に地理上、県外からの先生の出席も増えていきます。今年の3月に見知らぬ先生から、これで、地域包括診療加算の手続きができると喜ばれました。夕食目当てでの参加の先生も多いです。講演会の後の情報交換会も和気あいあいです。その後、牟田町に出勤される？先生もおられます。高速のインフラも整備されましたので、是非、宮崎市内だけでなく、都城の講演会にも来てください。機会があれば、牟田町にもご案内します。

(大橋 剛)

## 延岡市医師会

学校を卒業した看護師は、スキルアップや復習のための研修を受ける機会がありません。勉強したくても、仕事や家庭の雑事に追われ、遠方の研修に行くには、お金も時間もないのが現実であろう。当医師会主催の看護師研修講座も、今年で50年目を迎える。年6回開催し、講師は主に医師会の先生方である。百数十名だった参加者は減少傾向にあり、対策を考えなければならない。基礎的な事も人気であるが時勢に即した内容も必要である。向上心や危機感を持って、学びたくなる環境作りも大切だと思う。(大重 明広)

## 日向市東臼杵郡医師会

東日本大震災から5年が経過し、あらためて当時の被害状況を思い起こしました。海岸に面した当地域は、南海トラフ巨大地震発生による津波に対して日頃から警戒が必要な地域です。津波被害を最小限にとどめるため、既存の高台にある避難場所に加え、避難タワーの建設や高台避難のための避難道の整備が進められています。南海トラフ巨大地震発生に伴う当地域の被害想定死亡者は15,000人とも予想されています。何時起こるとも予測できない自然災害です。想定されている津波到達時間内に避難できる避難タワーの増設を望んでいます。

(渡邊 康久)

## 児湯医師会

児湯准看護学校卒業生は今年の資格試験に全員合格。成績優秀者もいたと聞いています。准看護学校の講義にあたった1人として非常に喜ばしい知らせでした。患者に寄り添い、患者に優しいナースとしてチーム医療を推進して欲しいと思います。ただ、児湯准看護学校の

経営は厳しく毎年500万近い赤字を出し続け、さらに今年は定員割れ。今年度からは理事報酬なし、交通費なし、理事会での弁当、お茶も廃止になりました。この涙ぐましい努力が報われますように！(高山 修二)

## 南那珂医師会

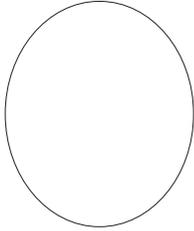
私は串間市民病院の院長として15年間勤務してきましたが、本年3月で定年を迎え、いったん退職という形をとり、串間市民病院が地方公営企業法一部適用から全部適用に移行するのに伴い4月1日より串間市病院事業管理者としてスタートしました。市の特別職としての採用です。院長は兼任しますので診療はこれまで通り継続していきますが、より責任のある立場となり病院経営にあたっていきます。また、南那珂医師会の理事として医師会との連携もこれまで以上にとっていきたいと思えます。

(黒木 和男)

## 西諸医師会

平成22年4月より小林市から委託を受けスタートした時間外急病診療当番体制も、事業開始から7年が経ち、合計11,601名の住民の方が受診をされています。平日の夜は、小林市立病院の夜間急病診療室又は会員の自院で、日曜祝日の日中は小児を中心に、小児科の先生方並びに小林市立病院にて診療を行っております。平日はもちろんのこと日曜祝日の小児科開院につきましても、会員の先生方や大学等のご協力によりまして、ほぼすべての日をカバーできるようになってきており、住民の方々の安心にも少なからずつながっているのではないかと考えております。今後も会員の先生方には当事業にご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。(堀 英昭)

## メディアの目



## 岐路に立つ部活

時事通信社 宮崎支局長

まきの たつお  
牧野達夫

2020年の東京五輪を控え、競技団体による選手育成やスポーツ振興が進められているが、その一方でこれまでスポーツの普及や選手育成の土台となっていた部活動が、岐路に立たされている。教員の長時間労働の要因となるなど、学校だけで支える今の体制が限界となっているからだ。

4月に文部科学省が公表した16年度の公立小中学校教員の勤務実態調査の速報値で、中学教諭の約6割が週60時間以上勤務。過労死の目安とされる水準を超過する長時間労働の実態が明らかになった。その要因として授業時間の増加とともに、中学では土日の部活動の時間が倍増していることが指摘されている。

同省は、今年度から外部人材が単独で指導したり、大会に引率ができる部活動指導員制度を導入し、適切な練習時間や休養日に関するガイドラインも年度中に策定するなど対応に動き出した。

また、自民党は、運動部活動のレベル向上や安全確保のために外部人材の積極活用に向け部活指導者の国家資格制度の導入の検討を始め、授業時間外に公立学校のグラウンドや体育館、武道場などを開放し、部活動と地域のスポーツ活動を一元化することも併せて検討するという。

ところで、五輪2大会連続金の北島康介さんや本県の松田丈志さんなどが目覚ましい結果を出している競泳ではスイミングスクールでの選手育成が主流だ。今や全国各地に広がったスイミングスクールだが、もともとは64年の東京五輪で惨敗した後に、競泳の選手や指導者による地道な選手育成や普及への取り組みが始まりだ。89年のソウル五輪でスイミングスクール育ちの鈴木大地スポーツ庁長官が金メダリストとなったことで流れが変わったのだという。

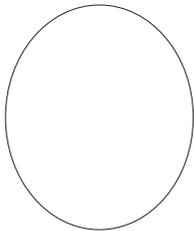
部活改革を進める上で、学校を中心に地域スポーツとの一元化を図るという考え方は、少子高齢化の進む中で現実的だ。専門の指導者による一貫した指導は、競技力の向上につながり、学校の施設を地域のスポーツの拠点とすることで、教員の負担は軽減できるだろう。ただ、地域によって状況は異なるはずである。国が一律の制度を決めるのではなしに、地域住民、自治体、体育協会、競技団体が一体となり実情に合わせた制度を作り運用していくべきだろう。

県内には、松田丈志さんを育てた延岡市の東海スイミングスクールの地域に根ざした貴重な取り組みがある。今後、部活改革を進める中で、こうした経験を生かし宮崎県が、全国を牽引してしていくことに期待したい。(了)

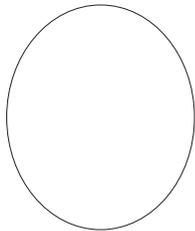
## 宮崎大学医学部だより

先月号より2か月間にわたり、「外科学講座」を紹介させていただきます。5月号の「心臓血管外科学分野」, 「呼吸器・乳腺外科学分野」に引き続き, 6月号では「肝胆膵外科学分野」, 「消化管・内分泌・小児外科学分野」, 「形成外科学分野」を掲載いたします。

### 外科学講座



なかむら くにひで  
中村 都英 教授



ななしま あつし  
七島 篤志 教授

#### 【肝胆膵外科学分野】

宮崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科学分野は平成29年4月現在, 七島篤志(宮崎医科大学昭和63年卒, 教授)以下, 藤井義郎(横浜市立大学平成3年卒, 病棟医長), 旭吉雅秀(宮崎医科大学平成10年卒, 医局長), 今村直哉(佐賀医科大学平成11年卒, 外来医長), 矢野公一(宮崎医科大学平成13年卒), 濱田剛臣(愛媛大学平成18年卒), 和田敬(久留米大学平成21年卒)を中心として, 初期研修終了後に「外科」へ入局した3年目の先生や初期研修医と一緒に診療に当たっております。当院は宮崎県唯一の高難度肝胆膵外科手術の修練施設で, いわゆる high volume centerとして重要な役割を担っており, 手術件数はもちろんのこと, 国内外に引けをとらない治療ができているものと自負しております。近年は抗癌剤治療後に切除可能となる局所進行癌症例もあり, そういった症例も含めて門脈や動脈などの合併切除・再建も積極的に行っています。また複数回の手術を必要とする転移性肝腫瘍あるいは肺腫瘍, 血管や他臓器浸潤を伴う高度進行腫瘍, 血管のマイクロ吻合などを必要とする症例が多くなり, 週1回開催しております心臓血管外科, 消化管・内分

泌・小児外科, 呼吸器・乳腺外科, 形成外科, そして肝胆膵外科の外科学講座の全分野が一堂に会した合同カンファレンス, あるいは他科とのカンファレンスで治療方針について多角的にディスカッションをして最適で最良な治療を提供できるように心がけております。

肝胆膵外科というと難しいイメージがあるようで, 最初からこの道を希望する若い人が少ないのは事実です。スタッフ数が以前の半分以上となり, やや疲労の色が垣間見えていましたが, 昨年4月の消化器内科の新設に伴い胆膵内科の診断や内視鏡治療を専門とされていた先生方が赴任され, それまで我々外科医が行っていた術前診断や閉塞性黄疸症例などに対する内視鏡検査, 治療を一手に引き受けていただいています。肉体的にも精神的にも余裕ができた分, 後進の育成に力を注ぎたく, その一環として外科全体として取り組んでいるMANGOU(Miyazaki Advanced New General surgery Of University)プロジェクトで医学生や研修医に対して肝胆膵外科分野だけでなく「外科」の醍醐味を伝えていきたいと思っております。

大学病院は地域の方々に対する最後の砦と考えております。肝胆膵外科に関して遠慮なくご相談いただきたいのはもちろんですが, 宮崎の外科を担う若い力のリクルートに関して皆様方からのご協力を是非ともよろしくお願いいたします。入局前から詳細な進路を決める必要はなく, 現在はまず「外科」に入局して外科専門医取得後に専門領域を考えるようなキャリアパスとなっております。「何となく」でも外科に興味のある方をご存じでしたらご一報ください。外科力の充実が宮崎の医療全体の発展につながるものと信じておりますが, 近年の経済事情は厳しいものがあり, 我々の力だけでは解決できない問題もございます。そういった窮状をお察しいただき, 皆様方や行政あるいは企業の方々からのお力添えとともに一致団結して宮崎の医療を盛り上げて参りたいと考えておりますので, 今後ともなにとぞご指導, ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。(医局長 旭吉 雅秀)

### 【消化管・内分泌・小児外科学分野】

宮崎大学第一外科，第二外科が合併し新しい外科学講座が誕生後，早くも丸2年が経過しました。外科学講座のなかで唯一，どちらの外科にも存在していた2つの消化管グループに，鹿児島大学から出向の小児外科を加え，外科学講座のなかの1つの分野として消化管・内分泌・小児外科学分野が構成されました。構成メンバーは講座のなかで最も多く，12名のスタッフに，ローテーションしてくる研修医を含め，常時15名ほどで診療を行っています。昨年1年間の手術件数は，食道，胃，小腸，大腸の悪性疾患と良性疾患，炎症性腸疾患といった消化管疾患全般を年間約300例行っておりまして，中には急性腹症や，腹部外傷などの緊急手術症例も50例ほど含まれておりました。内分泌外科としては甲状腺癌を主体とした甲状腺，副甲状腺疾患を同約50例，小児外科では新生児から小児までの先天異常や腫瘍性疾患，緊急症例といった手術を約100例行っていました。手術，外来は月曜日から金曜日までほぼ毎日行っておりますが，もともと旧一外科系と旧二外科系に割り当てられていた手術日および外来日を合併した形となっており，純粋な混成チームでの手術，外来ができていくわけではなく，曜日を分けて旧一外科系，旧二外科系とメンバーが入れ替わって業務を分担しているといった状況です。それでも専門性の高い手術の際など，必要な時は外来を分担して手術メンバーを調整しています。新体制発足時には，直前に多くの退局者があったこともあり，かなり少ない人数で切り盛りしていた時もありましたが，2年の間に，県外で

働いていたベテランの先生や中堅の先生方の入局，そして初期研修を終えた若い先生方が入局してくれてスタッフも少しずつ充実してきました。昨今，全国的にナンバー外科，ナンバー内科の統合が行われておりますが，それぞれの旧体制メンバーを維持しながらうまく統合が進んでいる事例は極めて少ないと伺っております。そのなかにあって非常に良好に統合が進んでいると考えています。これも構成メンバーの先生方ひとりひとりがお互いの立場を考え，尊重しながら得意分野，不得意分野をサポートしあっているからこそ成り立っているものと思っています。外来日，手術日をはじめ，システム上，こうしたらもっといいのにと思うところもありますが，皆で知恵を出し合い，協力し合いながら，より完成度の高いチームを目指していかなければと考えております。

まだまだ人材不足であり，関連施設への派遣もままならない状況で入局者の勧誘も喫緊の課題です。いろいろとアイディアを出し合って人材確保に努めていきたいと思っております。医師会の先生方におかれましては，是非温かい目で見守っていただき，サポートしていただけたらと考えております。また，消化管カンファレンスを毎週月曜日と水曜日の午前7時30分から3階西病棟カンファレンスルーム(旧第一外科カンファレンスルーム)で行っております。ご興味のある先生方は是非ご参加いただき，ご意見，ご質問，ご指導等いただければさらに盛り上がっていくのではないかと思います。今後ともご指導，ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(講師 池田 拓人)

## 【形成外科分野】

2015年4月、宮崎大学外科学講座に新しく発足した形成外科分野は2017年4月までの2年間多くの患者及び多くの学生に携わることができました。今回は現在までの形成外科分野での活動内容及び今後の動向について報告させていただきます。

### 2015年度

2015年4月久留米大学病院形成外科・顎顔面外科より宮崎大学外科学講座形成外科分野に講師として私、守永圭吾が赴任しました。病院での活動では2015年12月までの手術症例数は85例でした。内訳は耳鼻科28例、歯科19例、皮膚科13例、外科9例、形成5例、整形5例、脳外科2例、泌尿器科2例、救急1例、内科1例でした。新患数は45名でした。外来は皮膚科外来を皮膚科が使用していない月、火、木曜日に診察しています。病床数は外科病棟3階東に1です。

医学部での活動では授業は耳鼻咽喉科に付随され1年間に「頭頸部再建」「創傷治癒」の2コマでした。また医学部5年生、6年生に対しては耳鼻咽喉科の臨床実習中に「縫合実習」を2週間に1回行っていました。

その他、人事として2016年1月に大石王助教が「優れた若手研究員の雇用拡大」として1名増員しました。

### 2016年度

病院での活動では2016年12月までの手術症例数は114例でした。内訳は形成外科40例、耳鼻科30例、歯科26例、救急14例、整形14例、外科10例、皮膚科6例、脳外科4例でした。新患数は240名でした。昨年度と比べると手術症例、新患数とも軒並み増加しました。さらに病床数

は2017年1月より3階東病棟に1病床増加し2となりました。また手術枠として8月より金曜日1日1枠いただきました。

医学部での活動では授業は症候学に付随され1年間に「形成外科再建」「創傷治癒」の2コマでした。また医学部5年生、6年生に対しては外科学講座の臨床実習中に随時携わることとなりました。

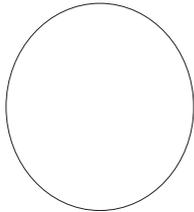
その他に4月より事務補佐員として井上由美子が配属されました。認定施設は2016年2月より乳房増大用エキスパンダーおよびインプラント実施施設となりました。

業績としましては、学会発表は2015年に7回、2016年に6回でした。論文投稿は2015年に6編、2016年に5編でした。

2017年度の動向としては4月に形成外科学会教育関連施設となりました。このため当科での専門医獲得が可能となりました。また2年次臨床研修医の研修も可能となりました。医学部での活動としては正式に外科学講座「肝・胆・膵」に付随されました。

今後の当院形成外科分野の展望としては、まずマンパワーの確保が必要です。本来なら形成外科で診療したい、しなければならないと思っている症例でも、現在の体制では非常に困難です。そのためには、学生、臨床研修医へのかかわりが重要となります。現在少しだけではありますが医学部での教育に携われることとなり、徐々に学生とかかわることが多くなり、形成外科医が行っている医療の重要性が周知されてきていると思います。近い将来に宮崎県に貢献する宮崎大学出身の形成外科医が誕生することとなりますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。（講師 守永 圭吾）

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り (眼 科 医 会)



しばた ひろし  
柴田 博 会長

宮崎県眼科医会の会員は平成29年3月31日現在で、A会員数56名、B会員数60名、C会員数(研修医)4名の合計120名で構成されています。

宮崎県眼科医会の平成28年度の主な行事と活動を

を報告します。

会員向けの宮崎県眼科医会講習会を4月、6月、10月、12月、2月に行いました。保険研究会を7月、12月に開きました。眼科女性医師の集いを発足させ、7月に第1回講演会を行いました。眼科従業員のための教育講座を6月、2月に行いました。県民むけの「目の健康講座」を、目の愛護デーに合わせて10月に都城市で開催しました。また、会員の親睦として、2回のゴルフ大会を開催しました。

中でも、県民の皆様向けに開催した目の健康講座は、都城盆地の残暑の中230名もの多くの方々にご参加いただき、盛況のうちに開催できました。その内容についてご報告させていただきます。

### 第一部 ビデオ上映「ヒ・カ・リ」

日本アイバンク協会が制作したアイバンク活動の啓発用ビデオで、ジャニーズの滝沢秀明さんが主演です。目の愛護デーという貴重な機会に、アイバンクの存在を一般の皆様を知っていただくことができ、大変意義のある時間だったと思います。

その後、参加者の多数の方がアイバンクの窓口で眼球移植の登録をされました。

### 第二部 東京大学医学部眼科学教授の相原一先生による講演

「緑内障！白内障とは大違い！」とのタイトルで、緑内障のメカニズムや眼科検診の重要性を話されました。早期に緑内障を発見し、治療を開始するのが、予後をよくする方法だと話されました。眼科検診は、その他の検診に比べるとその重要性がまだまだ一般の方々には認知されておらず、このような機会に知っていただくことで緑内障やその他重要な眼科疾患の早期発見・早期治療を促すことができました。素晴らしいことです。

講演後には、教授が参加者から熱心に質問を受けられ、緑内障という疾患について一般の皆様にも深く理解をしていただいた貴重な講演会となりました。

### 第三部 目の無料健康相談会

参加者の中から21名の希望者が、当日直接眼科医に相談することができました。日頃心配だったがなかなか相談する機会がない、相談していいものか分からないなど、潜在的な患者の存在を実感しました。相談された皆様には、限られた時間であったものの「相談できて、良かった」とのアンケート結果を多数いただきました。

宮崎県眼科医会では、日本眼科医会主導のもと男女共同参画事業に力をいれております。各講習会では託児所の設置を行い、眼科女性医師の集いも発足させております。講演会には20名の女性医師が参加しました。長年女性の開業医として歩んでこられた先生方のお話を聞き、また女性同士ならではの日頃の経験を語り合い、非常に有意義な機会となったようです。

今後も、眼科医会としてさらなる努力をしていく所存です。皆様のご協力をよろしくお願ひします。

## 「はまゆう随筆」原稿募集

7, 8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評です。

題 材 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談議, 詩, 詩歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数 800字以内 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 平成29年 6 月30日(金)

- ◎ 原稿には「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任下さいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 原稿の内容については, 人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。
- ◎ 日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法(FAX, 郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

# 第18回都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会 「平成29年度介護報酬改定および地域支援事業の推進について」

と き 平成29年3月1日(水)

ところ 日本医師会館

挨拶 日本医師会長 横倉 義武

地域支援事業は、平成30年度より全ての市区町村において実施されることになっており、都道府県医師会の積極的な関与と都道府県医師会による支援が必要不可欠であると考えている。

また、改正道路交通法(平成29年3月12日施行)に伴う、認知症高齢者の運転免許更新に関する診断書の作成については、大変重要な課題であり、日医へ多くの問い合わせが寄せられた。このたび、「かかりつけ医向け認知症高齢者の運転免許更新に関する診断書作成の手引き」が完成したので、参考にしていただきたい。

地域で暮らす誰もが必要な医療・介護が受けられるよう、かかりつけ医や都道府県・市区町村医師会が行政とともに車の両輪となり、積極的にまちづくりに関わっていただきたい。

## 議 題

### 1. 平成29年度介護報酬改定等について

厚生労働省老健局老人保健課長

鈴木 健彦

#### 1) 平成29年度介護報酬改定

29年度改定については、介護職員処遇改善関係の改定のみ行っている。そもそも人材確保が困難な理由の一つとして、介護人材の賃金が他の対人サービス産業と比較して低く、介護職員262,000円(月額)に対し、他の対人サービス業は273,000円で1万円程度の差があることがわかった。他の産業との差がなくなるよう、29年度からキャリアアップの仕組みを構築し、月額平

均1万円相当の処遇改善を実施するため、臨時に1.14%(在宅分0.72, 施設分0.42)の介護報酬改定を行うものである。今回は事業者による、昇給と結びついた形でのキャリアアップの仕組みの構築について、手厚い評価を行うための区分を新設する。具体的な内容については、現行の介護職員処遇改善加算(I)の加算に必要な要件に加えて、新たに「経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組みまたは一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けること(就業規則等の明確な書面での整備・すべての介護職員への周知を含む)」とのキャリアパス要件を設け、これらをすべて満たすことで、加算を取ることができる。これまでは、職位・職責・職務内容等に応じた賃金体系で、どのような場合に昇給するのか明確ではなかったが、今回、事業者において経験・資格・評価のいずれかに応じた昇給の仕組みを設けることで明確になった。

また、就業規則等の明確な書面での整備・すべての介護職員への周知を行うことで加算を取ることができる。

#### 2) 在宅医療・介護連携推進事業と地域リハビリテーションの推進

平成26年度の法改正によって、新たに地域支援事業として位置付けられ、市区町村が主体となって実施する事業である。本事業は地域の医療・介護の資源の把握など8

つの事業項目すべてについて、平成30年4月にはすべての市区町村で実施されることを目指している。また、8つの事業項目は、郡市区医師会等に委託することも可能となっており、引き続き自治体が行う事業にご協力をお願いしたい。地域における介護予防の取組みを機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。一方、リハ職は病院勤務が大半であるため、医療機関の協力が必要不可欠である。ぜひ派遣体制を作っていただきたい。

なお、都道府県の派遣体制は平成12年に地域リハビリテーション支援事業、いわゆる脳卒中リハの観点から行われていたが、その後、国の補助金ではなく、一般財源化され、都道府県の単独事業として行っているところもあれば、国からの補助金がなくなったことによって実施を止めてしまったところもある。過去に行っていたところは、過去のノウハウを活用して新たに体制を作っていただきたい。

## 2. 地域支援事業の推進について

### 1) 認知症施策の取組み

#### (1) 高齢者の自動車運転と認知症をもつ人を地域で支える取組み

～改正道路交通法への対応を中心に～

鳥取県医師会副会長 渡辺 憲

高齢者が多くなるにつれ、交通事故が増え、社会生活の上で困難を生じていることはご承知のとおりである。高齢化社会のなか、かかりつけ医の先生方が地域で高齢者をしっかり診ていただき、地域で安心・安全に生活を送っていただくため、運転が難しくなっている方への指導もかかりつけ医の重要な役割と考える。これに関連して、

運転免許制度の改正が3月12日に施行されるが、かかりつけ医にも診断書の作成を求められるケースが増えてくると思われる。

具体的には、認知症が専門ではないものの、普段の生活を把握しているかかりつけ医が十分に対応していただけるような制度が反映され、地域の中で、かかりつけ医が高齢者を支え、運転免許を取り消された方がひきこもることなく、健康な生活を送っていただくための市町村の事業と連動した形での指導が非常に重要である。

認知症の検査方法には、HDS-RとMMSEがあり、HDS-RもMMSEも30点満点中20点以下が認知症の可能性が高いとされている。日頃の認知機能の変化を、ご本人及びご家族に様子をみていただきながら総合的に診断していただくことが必要となる。また、画像をお持ちでない先生も、病状経過をしっかりと把握していただき、神経外科的な運動の症状等を総合的に診断していただきたいと思う。

診断書の作成については、ぜひ積極的にかかりつけ医の先生方にも関わっていただきたい。認知症は診断が難しいケースもあるので、専門医との連携は、重要な課題である。地域において、かかりつけ医と専門医の先生が連携しながら患者さんへの診断・治療について十分に質の高い方法、あるいは安全で安心できる暮らしが提供できるかたちで関わっていただきたい。

なかなか患者さんが協力してくれない場合には、警察の免許担当者に相談していただき、臨時適正検査を受けていただく方法もある。できるだけ地域の医療連携の中で、診断書作成に対応していただきたい。

また、診断書を渡すだけではなく、認知機能が低下していることを丁寧に説明する

ことが重要である。また、診断書を提出することによって公安委員会の審査を受け、免許取消しになる可能性が高いこともお伝えいただきたい。

しかし、中には軽度(MCI)な認知機能低下があってもそれほど日常生活に支障がない方については、軽度認知障害という項目があるので、そちらを診断していただくと半年後に再検査が求められるが免許は可能である。

なお、医学的根拠なしに認知症ではないとの診断書を作成することは止めていただきたい。判断が難しい場合は、専門医に診断書の作成を依頼するなど、地域で専門医との連携を図っていただきたい。最終的に運転免許を返納する方が多くなると予想されるが、運転を止めても社会参加が継続できるような地域社会にするためにも、かかりつけ医の先生方にご支援いただきたい。

また、返納へのメリットが得られるよう、警察および自治体も考慮しているので、ご本人やご家族にメリットを提示しながら考えていくことも重要である。

## 2) 都道府県医師会における先進的な取り組み

### (1) 熊本県における地域リハの取り組み

熊本機能病院会長・総院長 米満 弘之

※代理 熊本県医師会理事 林 邦雄

熊本県地域リハビリテーションの支援体制については、県医師会に事務局があり、その下に17か所の地域リハビリテーション広域支援センターがある。このたび新たに地域密着リハビリテーションセンターを作り、通常及び災害時のリハ活動に協力いただけることを条件に募集したところ、85か所(病院35、診療所17、老健29、その他事業所4)の手挙げがあった。通常のリハ活動は、①熊本県地域リハビリテーションセ

ンターとして広域リハセンターへの技術的支援、関係機関との連絡調整、及びその後の調査・研究を行う。②地域リハビリテーション広域支援センターとして市町村や圏域のリハビリテーション関係者及び介護予防関係者等を対象とした技術的な支援(研修会、連絡会議等の実施)、リハビリテーション専門職の派遣も行う。③地域密着リハビリテーションセンターとして通常の介護予防事業へのリハビリテーション専門職の派遣、広域リハセンターが実施する研修会や連絡会議への協力。④熊本県復興リハビリテーションセンターを県医師会に置いて従業員2名、コーディネータ5名に来ていただき、派遣調整をしている。

機能分化し、重層的に生活自立を支える医療・介護・地域サービスのネットワークを構築し、地域包括ケアシステムを確立している。

また、地域おこし、まちづくりとして24時間総合ケアの確立を図りたい。

### (2) 埼玉県における地域リハビリテーション支援体制

埼玉県医師会地域包括ケアシステム推進委員会地域リハビリテーション担当副委員長 齊藤 正身

埼玉県医師会には地域包括ケアシステム推進委員会があり、在宅医療、認知症、介護保険、地域リハビリテーションと4つの部会に分かれている。平成12年に介護保険と回復リハビリテーション病棟が開始し、地域リハビリテーション支援体制が国で始まった。その時に、県リハ協議会、県リハ支援センターのもと県内10か所の「地域リハ広域支援センター」が活動していた。特徴としては、地域リハ広域センターは福祉保健総合センターが受け持ち、民間病院は

役割を担えなかった。民間病院は中核的協力医療機関としてリハ機能のある医療機関を1か所指定していた。県医師会との連携は存在せず、10圏域の取組みはそれぞれ違っており、この状態が平成17年まで続いていた。事業内容としては、会議と研修会がほとんどで、実際の現場では介護予防は行われていなかった。国からの補助もなくなり、平成18年度以降は地域リハ広域支援センターが終了し、結果的にはすべて各市町村の地域包括支援センターが役割を担うことになった。

そのような中で、埼玉県地域リハの新しい体制を作るきっかけとなったのは、平成23年の東日本大震災であった。この時に多くの福島県双葉町等の方々が、さいたまスーパーアリーナに避難されており、医療として関わりがあり、リハビリも行うこととなった。活動してわかったことは、一番運動量が確保できていた方は喫煙者で、高齢者の方や体の不自由な方は動かないため、運動量が減ったということであった。

平成25年2月に県議会で、埼玉県のリハビリテーション体制を指摘する発言があり、それを受け地域包括ケアの実現に向けた地域リハビリテーション支援体制の相談が始まった。25年9月から地域リハビリテーション・ケアサポートセンターとして開始し、その結果、重要な役割であることが認識され、26年4月から県内5地域で事業を開始した。

埼玉県の地域リハ支援体制の特徴は、地域リハビリテーション推進協議会と県総合リハビリテーションセンターとの連携である。地域リハビリテーション・ケアサポートセンターに協力医療機関が連携し、市町村の地域包括支援センターに派遣する(ケ

アサポートセンターから、直接支援に入るのではなく、協力医療機関の方が対応するシステム)。また、高齢者だけでなく、障害者相談支援センターも交えて話を進めた。

今後の支援のあり方については、リハビリテーション・ケアサポートセンターでの連絡会議を中心に、支援体制のブラッシュアップをするために事業の評価、事業スキームの検討、事業の調整を行うことが決定した。

### (3)在宅医療・介護連携推進事業に関する福井県医師会等の取組み

福井県医師会副会長 池端 幸彦

地域包括ケア推進の鍵は、地域医師会と地域包括支援センターではないかと考える。なぜなら、認知症は医師だけでは治しきれないし、支えきれない。また、介護だけでも支えきれず、お互い協力しあえる関係が良いモデルになる。

福井県では、認知症検診の定着と予防施策の推進及び認知症を発症した場合も、症状に応じた適切な診断・治療が受けられるよう、医師等の人材養成と医療機関等の連携体制の確立を推進している。研修に関しては、かかりつけ医認知症実践研修と認知症サポート医フォローアップ研修がある。サポート医養成研修を修了した県内のサポート医には福井県認知症サポート医連絡協議会に加入していただく。

坂井市、あわら市をモデル地区として包括ケア体制を整備し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる社会の実現のためにこの事業を行った。特徴は、①地域内の医療機関の連携による24時間対応の在宅医療(26医療機関が参加し、在宅患者一人ひとりに主治医・副主治医を配置

する)、②多職種・機関とのスムーズな連携を図るための患者情報共有(医療機関・介護サービス事業所などが参加し、114機関がICTにより患者情報を共有する)。

地域包括ケアと地域医療構想が車の両輪となり、「県と県医師会」、「県医師会と郡市区医師会」、「郡市区医師会と市町村」の3つが連携する。そうして地域包括ケアを進めることが、在宅医療・介護連携促進の秘訣になると考えている。

### 3. 地域支援事業を活用した「まちづくり」への期待

#### 日本医師会常任理事 鈴木 邦彦

わが国の最大の課題は、全体をみれば少子化が止まらないことである。そのため、今後ますます労働人口が減少し、ますます深刻になる。一方で、高齢者は増え、給与水準が低下、保険料負担が増加し、若年世代の負担がますます重くなる。その中でいかに社会保障制度を守っていくかを考えなければならない。そのために、健康寿命を延伸し、元気な高齢者が活躍できる社会を作っていく必要がある。

在宅医療・介護連携推進事業は少しずつ進んでいる状況であり、県行政課と県医師会が車の両輪になることが重要であると考えている。

地域リハビリテーション支援体制整備推進事業をもう一度、活性化あるいは復活していただきたい。これは災害時に非常に有効となる。県医師会がしっかり関わって、医療機関と自治体が契約の上、業務の一環として仕組みを作っただき、地域連携室や広域支援センターの下にいかに協力医療機関を作るかが重要である。

認知症診断書については、かかりつけ医の先生に手引きを参考に書いていただきたい。診察、検査等の費用は、通常の保険診療と同

様の扱いであるが、診断書作成費用は自費となる。また、医師の責任については、認知症でないと診断した方が、その後、事故を起こし、認知症であったことが判明した場合であっても、通常、医師の刑事責任が問われることはない。また、民事の場合も、通常は問われることはないであろうとのことである。認知症の方を支えることをきっかけに、国レベルでも地域においても、これまで接点のなかった方々が繋がっていき「誰にでもやさしいまちづくり」が進むことを期待する。

これからの高齢者医療と介護は一体化していくが、これが地域包括ケアであると考えている。担い手はかかりつけ医であり、それを育成するのが日医かかりつけ医機能研修制度であると考えている。また、それを担当する医療機関は、かかりつけ機能を持つ中小病院、診療所と考えている。最近では、障害者福祉制度と介護保険制度が近づいているので、障害者、子供の貧困の問題などを考えた上、福祉、健康寿命等、幅広く考える必要がある。かかりつけ医はもっと地域や社会に目を向けて、そして元気高齢者の就労・社会参加、さらに子育て支援、次世代の育成までを考えるべきである。

今までは、急性期大病院を頂点として、下のほうにかかりつけ医がいる垂直連携が中心であったが、これからは、かかりつけ医がリーダーになっていただき、地域の様々な業界の支援と連携した水平連携が治療の中心になってくる。急性期大病院には外側で地域の最後の砦になっていただきたい。

地域包括ケアは進化している。このままいくと少子化が進んで人口減少が止まらない状況にあるが、われわれの市町村の取組みで、人口減少社会から全世代・全対象型地域包括ケアで再生を目指す社会づくりが必要で

ある。

**総括 日本医師会副会長 中川 俊男**

平成30年度は、診療報酬と介護報酬の同時改定となる。地域支援事業を活用したまちづくりが進み、医療と介護が全国的に過不足なく提供できる改正整備ができるよう、都道府県医師会のご支援、地域医師会のご協力をお願いしたい。

出席者

(日医会場)金丸常任理事

(県医TV会議場)

**【各郡市医師会】**

都 城：田原課長，戸切主任

延 岡：大崎事務局長，山本主任

西 都：松本会長，黒木事務長

南那珂：中村副会長

西 諸：遊木次長

**【県医】**

富田副会長，久永課長，鳥井元課長補佐

高齢者の運転免許更新時の認知症の診断書作成について、かかりつけ医で対応が難しい場合にご紹介いただく医療機関の一覧を、県医会員専用ページにアップしていますので、ご活用ください。

[対応医療機関一覧]

<http://www2.miyazaki.med.or.jp:8080/xoops/modules/news/article.php?storyid=29304>

対応日時や予約の有無についても記載しています。

また、日医が作成した「かかりつけ医向け認知症高齢者の運転免許更新に関する診断書作成の手引き」については、下記ホームページに掲載されています。

[http://dl.med.or.jp/dl-med/doctor/ninmen/20170301kaigo\\_tebiki.pdf](http://dl.med.or.jp/dl-med/doctor/ninmen/20170301kaigo_tebiki.pdf)

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書，研修会の案内等)

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

## 平成29年度「All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー & ウェルカムパーティ」開催報告

と き 平成29年4月8日(土)

ところ シーガイアコンベンションセンター

宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会副会長

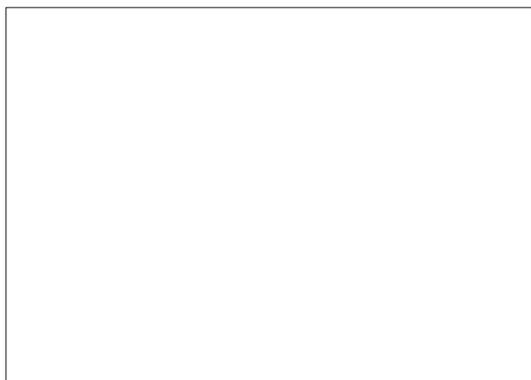
宮崎大学医学部 医療人育成支援センター教授

宮崎大学医学部附属病院 卒後臨床研修センターセンター長 小 松 弘 幸

平成29年4月8日、シーガイアコンベンションセンターにて、「All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ」が開催されました。

宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会および宮崎県医師会の主催で、県内全ての研修医が一同に会して合同説明会やグループワーク、講演会、祝賀会を同時に開催するものです。宮崎県と宮崎大学、県内基幹型臨床研修病院、宮崎県医師会が一体となって企画を行い、この開催形式としては今回が2回目となりました。

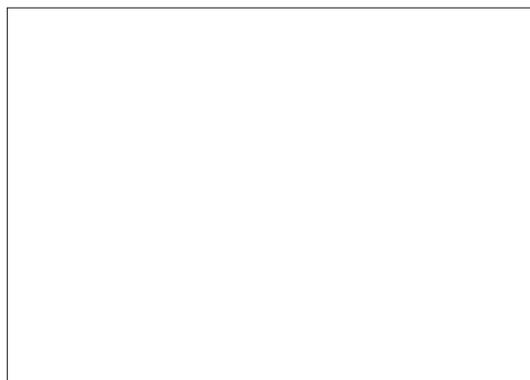
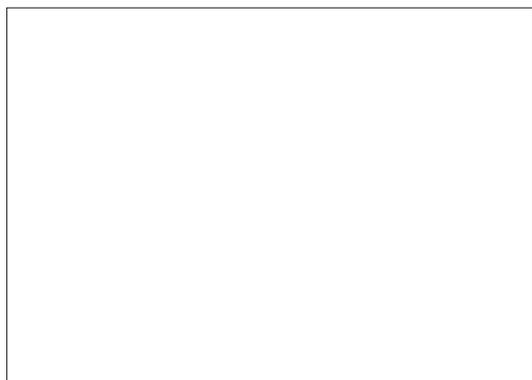
第1部は、宮崎県医師会による新研修医を対象とした保険診療等説明会でした【写真1】。はじめに富田雄二副会長が医師会の活動紹介と宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会の設置目的



【写真1】第1部「保険診療等説明会」の様子

および活動について説明されました。その後、医療事故調査制度について(濱田政雄副会長)、医事紛争について(小牧斎常任理事)、医師会入会・医師資格証のご案内(立元祐保常任理事)の説明がありました。現在は初期研修2年間に限り、研修医は無料で医師会員として活動参加とさまざまな支援(医師会雑誌や生涯テキストなどの刊行物)も受けられるため、ほぼ全ての研修医に研修期間中への入会を薦め、実際に加入されています。

第2部は、ひとづくり工房esuco代表の浦山絵里先生による、『仲間作り』と題した研修医合同グループワークが行われました【写真2, 3】。浦山先生は、杏林大学医学部付属病院で長年勤務された後、医療職従事者が生き生きと働くために、「安心で安全な語り場づくり」と「ファシリタティブな(ファシリテーションのうまい)医療現場と社会づくり」を目指して起業され、現在は全国各地の講演会や講習会でご活躍されています。最初に簡単な主旨説明がされた後、研修医は「手作り自己紹介シート」を作成し、それを手に持って会場内を歩きながら、次々と研修医同士で相互紹介を行いました。次に、オープクエスチョンやあいづちの例が書かれた「質問の技」カードを用いてお互いにインタビューを行いながら、コミュニケーションの



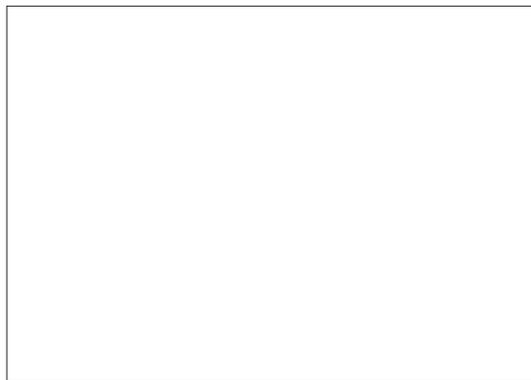
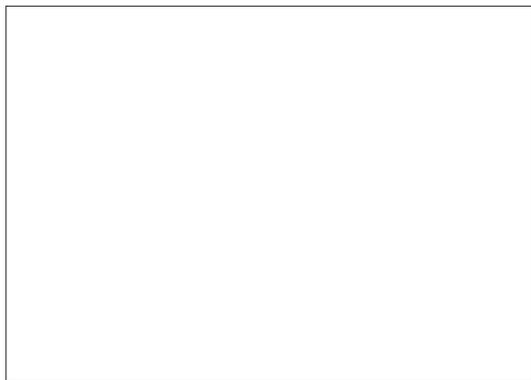
【写真 2, 3】第 2 部「浦山先生による研修医グループワーク」の様子

取り方を学びました。わずか45分間の仕掛けで、参加していた研修医は一気に打ち解け合い、和気藹々とした雰囲気となりました。

第 3 部は、東京ベイ・浦安市川医療センター救急集中治療科部長の志賀隆先生を特別講師に迎えての臨床研修講演会でした【写真 4】。志賀先生は、東京医療センターや米軍海軍病院での研修を経て、米国のメイヨークリニック救急科、ハーバード大学マサチューセッツ総合病院で約 6 年間にわたり救急診療の指導や医学教育にも従事された経験を持ち、今や救命救急や医学教育の分野では知名度抜群の新進気鋭のドクターです。お題目は『あなたは知っていますか？初期研修の荒波を乗り越えるための厳選 3 つの秘訣？』でした。近著、『医師人生は初期研

修で決まる！って、知ってた？』でも有名な志賀先生ですが、今回の講演でも、著書の中でも紹介されている「バイアスと戦う、ウェルネスのコツを知る、コミュニケーションのコツを知る」の『3つの秘訣』について、多彩かつリアルな経験談を交え、会場の研修医にどんどん質問を振りながら、終始楽しい講演を行って下さいました。現在臨床の第一線で活躍している志賀先生だからこそ分かる、「初期研修開始時点でのウェルネスやコミュニケーションへの考え方が重要だよ」というメッセージが強烈に届きました。

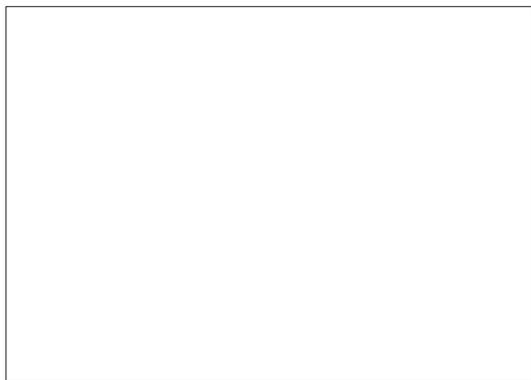
第 4 部は、県内新研修医および 2 年次研修医への祝賀会でした【写真 5】。河野俊嗣宮崎県知事(ご都合で当日欠席)、河野雅行宮崎県医師会



【写真 4】第 3 部「志賀隆先生による臨床研修講演会」の様子

【写真 5】第 4 部「研修医祝賀会」の全体風景

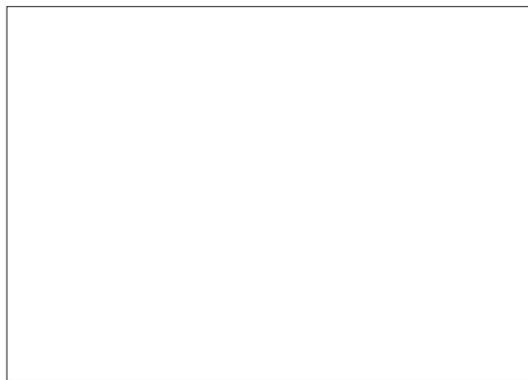
長，池ノ上克宮崎大学長を始め，県内の各医療機関から多数の指導医が参加され，約200名による盛大な祝賀会となりました。宮崎大学医学部附属病院の福島理紗先生が新研修医代表挨拶をされましたが，福島先生の出身小学校と関係あるノートルダム清心学園元理事長，渡辺和子先生の名著『置かれた場所で咲きなさい』を引用しての清々しく力強い宣誓は大変印象的でした【写真6】。祝賀会の途中では，新研修医のみな



【写真6】第4部「研修医代表挨拶(福島理紗先生)」

さんがステージに上がり，自己紹介とともに宮崎県内研修病院の志望動機や10年後を見据えた抱負を述べて下さいました【写真7】。

今年も，大変内容の濃い充実したイベントとなりました。この「All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ」が，今後も進化を遂げながら継続され，宮崎県における研修・教育の恒例行事として定着していくことを心より願う次第です。



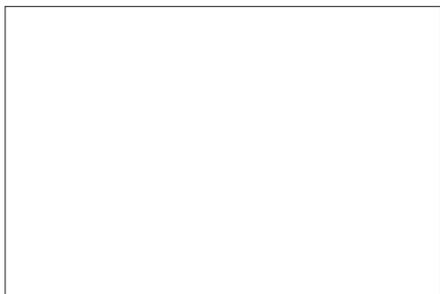
【写真7】第4部「新研修医による自己紹介」の様子

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では，県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は，事前の予約が必要となりますので，ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。



お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

## 告知

## 第166回宮崎県医師会定例代議員会開催

と き 平成29年 6 月17日(土)15:30～  
ところ 宮崎県医師会館 5階会議室

## 次 第

1. 議長開会宣言
2. 議事録署名人選出
3. 県医師会長挨拶
4. 報 告
5. 議 事
6. 協 議
7. その他
8. 議長閉会宣言

## ご 案 内

第74回総会を開催し、各種表彰を行いますので、是非ご出席ください。

## 平成29年度第74回宮崎県医師会総会

と き 平成29年 6 月17日(土)17:30～18:20  
ところ 宮崎県医師会館 2階研修室

## 次 第

- 1 開 会
- 2 物故会員に対する弔意黙祷
- 3 県医師会長挨拶
- 4 来賓祝辞及び来賓紹介(祝電披露)
- 5 各種表彰祝賀
- 6 閉 会

※クールビズでの開催となります。

## 日医インターネットニュースから

### ■専門医「義務ではない」を明確化へ — 厚労省新検討会 —

厚生労働省の「今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会」は4月24日に初会合を開き、2018年度開始予定の新専門医制度について、専門医の取得を全ての医師に義務付けないことを明確にすることなどを確認した。座長に選出された遠藤久夫氏(国立社会保障・人口問題研究所長)は「必要であれば、指針の修正もあり得る」と指摘。日本専門医機構の「新整備指針」の修正が視野に入った。

検討会は、地域医療に求められる専門医制度の在り方と、卒前・卒後の一貫した医師養成の在り方、医師養成の制度における地域医療への配慮を検討課題とする。まずは新制度の開始を間近に控えた専門医制度の在り方が議題になる。

厚労省は初会合で、専門医に関する論点として▽専門医の取得は事実上、義務付けられるものではないことを明確にする▽地域医療従事者や休職・離職を選択した女性医師などに専門医の取得を促す観点に配慮した、カリキュラム制の設置を明確にする▽研修の中心は大学病院のみではなく、症例の豊富な地域の中核病院などであることを明確にする—の3点についてどのように考えるかを挙げた。

首長の立場では立谷秀清構成員(福島県相馬市長・全国市長会副会長)が、全医師に専門医の取得を義務付けると地域医療への影響が甚大であることなどを訴えた。

こうした懸念に対し、日本専門医機構の理事長である吉村博邦構成員は、同機構の取組みを紹介。専門医の取得は義務付けではないこと、専攻医の多い内科など8領域では原則として大学病院以外でも基幹施設になれる基準に設定していること、都市部の5都府県では一部の診療科を除き専攻医募集定員の上限を設定していることなどを語り、地域医療に配慮した制度設計を進めているとした。「全員が100%納得する専門医制度のスタートは困難」とも述べ、まずは制度を動かした上で大胆な見直しを検討する姿勢も示した。

### ●「この場の意見を反映」 遠藤座長

議論では、厚労省の示した3つの論点について、日医の今村聡副会長が表現ぶりの一部に改善を求めたものの、反対意見はなかった。遠藤座長は会議の最後に「この場の意見ができるだけ専門医の仕組みに反映できることが望ましい」とし、新整備指針について「必要であれば修正もあり得ると思う」と引き取った。

(平成29年4月28日)

### ■ホームページをリニューアル

#### — 日本医師会女性医師バンク —

今村定臣常任理事は、4月26日の定例記者会見で、日本医師会女性医師支援センターの中核事業である日本医師会女性医師バンク(以下、女性医師バンク)のホームページをリニューアルしたことを公表した。

女性医師バンクは、日医が厚生労働省の委託を受け、今後増加していく女性医師のライフステージに応じた就労を支援し、医師の確保を図ることを目的として、平成19年1月30日より開始した厚労大臣の許可を受けて行う職業紹介事業であり、女性医師に関するデータベースを構築するとともに、女性医師の採用を希望する医療機関の情報収集を行い、女性医師に対して就業希望条件にあった医療機関を紹介するなど、就業までの支援等を行っている。

今村常任理事は、「これまでのホームページでは、利用者にとって操作性が低く、必要としている情報をサイト内で検索できなかった」と指摘。さらに、「ウェブ検索で当バンクのサイトが検索結果の上位に表示されず、求職中の女性医師の目に触れる機会が少なかったことなども、求人・求職者共に登録数が伸びなかった要因であった」として、今回のリニューアルに至った経緯を説明した。

その上で、「今回は、トップページのデザインを刷新した他、(1)利用者が登録しやすく、必要キーワードで求人検索が可能、(2)マルチデバイス対応で全世代が親しみやすいデザイン、(3)必要としている求職者へ存在をアピールできる—の3点をコンセプトに改善を行った」とした。

また、同常任理事は、「必要なキーワードで簡単に条件検索ができるようにした他、都道府県ごとの求人検索も、業務内容での検索も可能になった。また、求職者が知りたい情報を表示できるようになり、より利便性の高いものとなった」として、「女性医師バンクを更に活用して欲しい」と呼び掛けた。

詳しくは、日医女性医師バンクのホームページ(<https://www.jmawdbk.med.or.jp/>)を参照。

◆問い合わせ先：日本医師会女性医師バンク  
TEL：03-3946-2121(代) (平成29年5月9日)

## ■受動喫煙防止対策の強化求め署名活動

### － 日医 －

受動喫煙防止対策の強化を実現するため、日本医師会は全国規模で署名活動を行う。対策強化を巡る政府・与党間の調整が膠着状態だったことから、世論を盛り上げていくために実施する。集まった署名は、首相官邸や厚生労働相、衆参両院の議長に提出することを視野に入れている。5月10日、記者会見した羽鳥裕常任理事は「少なくとも100万人分以上の署名を集めたい」と話した。

署名への協力を求める趣意書では、2020年の東京五輪・パラリンピック開催に向け、世界に対し、たばこ対策に抜本的に取り組む姿勢を示す必要があると強調。さらに「非喫煙者、特に働く若い人を受動喫煙による健康被害から完全に守るためには、日本全体で屋内100%全面禁煙とする国際水準の受動喫煙防止法や条例の制定が不可欠」と訴えている。

同日の会見で、横倉義武会長は、「膠着状態を何とか打開しないといけない。少なくとも対策を前進させなければならない。そういう経緯で署名活動をスタートさせることにした」と説明した。

署名は全国民を対象とし、医療機関の待合室などで協力を求める。集めた署名は日医や郡市区医師会などに提出してもらおう。送付期限は6月23日。詳細の問い合わせは、日医地域医療第

3課(TEL：03-3942-8181)へ。

(平成29年5月12日)

## ■新専門医制度のQ & Aを公表

### － 日本専門医機構 －

日本専門医機構はこのほど、新専門医制度の「概説とQ & A(5月12日版)」をまとめ、ウェブサイトで公表した。概説では、新専門医制度の概要を専門医制度新整備指針を踏まえて説明している。Q & Aは、▽新しい日本専門医機構について▽専門医の養成方法について一など6つのテーマ別に、計27項目で構成した。

(平成29年5月23日)

## ■NDBデータ、「個人情報に当たらない」

### － 厚労省・有識者会議 －

厚生労働省の「レセプト情報等の提供に関する有識者会議」(座長＝山本隆一・医療情報システム開発センター理事長)は5月17日、レセプト情報等は匿名化処理後に保険者から厚労省に提供されているため、NDBデータも「原則としては、個人情報には当たらない」との解釈を確認した。従来通りの考え方だが、改正行政個人情報保護法が30日に施行されるのを前に、NDBデータを第三者に提供する際の運用をあらためて整理した。

ただし匿名化されていても、極めてまれな疾病の傷病名が記載されている場合や、年齢などが明らかな著名人がまれな疾患に罹患したケースでは、NDBデータから本人特定につながる可能性はゼロではなく、個人情報が含まれる場合がある。

同日はそうしたまれなケースも想定した上で、行政の業務や大学などの研究目的のためのNDBデータの提供は、同法で認められていることを確認。万一、個人情報が含まれていても従前通り第三者提供できるとの認識で一致した。

(平成29年5月23日)

日医インターネットニュースは日本医師会ホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザー ID：会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)

お知らせ

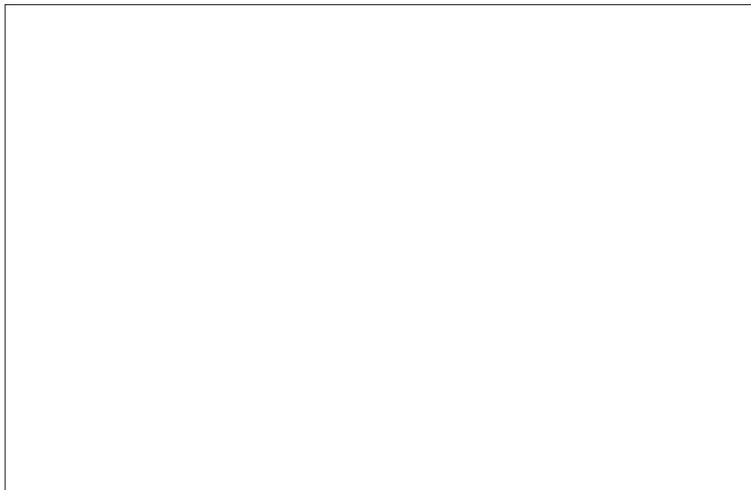
## 第18回 宮崎県医師会医家芸術展

「会員先生方の優秀な作品を一堂に展示し、作品を通じて県民との交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」をテーマに、平成12年より始めました宮崎県医師会医家芸術展を、本年も県立美術館にて開催いたします。

昨年は、1,169名の皆様にご来場いただき、大変ご好評をいただきました。

今年は下記の日程で開催いたします。

また、作品を募集しておりますので、会員及びご家族の皆様からのご出展を心よりお待ちしております。



(昨年の会場風景)

展示期間：平成29年 8 月 9 日(水)から13日(日) 5日間  
場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2  
(宮崎市船塚 3-210 県総合文化公園内)  
部 門：写真、書道、絵画  
出 展 者：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

### 作品募集中！

出展をご希望される宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)の方につきましては、応募用紙を送付しますので下記までご連絡ください。応募用紙は県医師会ホームページからもダウンロードできます。

※作品の搬入出につきましては、各自の責任のもとでお願いいたします。

問合せ先：宮崎県医師会医家芸術展事務局  
TEL 0985-22-5118 FAX 0985-27-6550

## 5月のベストセラー(宮崎県)

集計：2017年5月1日～5月25日

|    |                        |           |          |
|----|------------------------|-----------|----------|
| 1  | 劇場                     | 又 吉 直 樹   | 新 潮 社    |
| 2  | 君の臍臓をたべたい              | 住 野 よ る   | 双 葉 社    |
| 3  | 蜜蜂と遠雷                  | 恩 田 陸     | 幻 冬 舎    |
| 4  | うつヌケ                   | 田 中 圭 一   | KADOKAWA |
| 5  | か「」く「」し「」ご「」と「         | 住 野 よ る   | 新 潮 社    |
| 6  | 九十歳。何がめでたい             | 佐 藤 愛 子   | 小 学 館    |
| 7  | 儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇     | ケント・ギルバート | 講 談 社    |
| 8  | アキラとあきら                | 池 井 戸 潤   | 徳 間 書 店  |
| 9  | 虚ろな十字架                 | 東 野 圭 吾   | 光 文 社    |
| 10 | 「死ぬくらいなら会社辞めれば」ができない理由 | 汐 街 コ ナ   | あ さ 出 版  |

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

## 医療事故調査制度

## 宮崎県医師会 相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。

医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

**宮崎県医師会 電話 0985-22-5118**

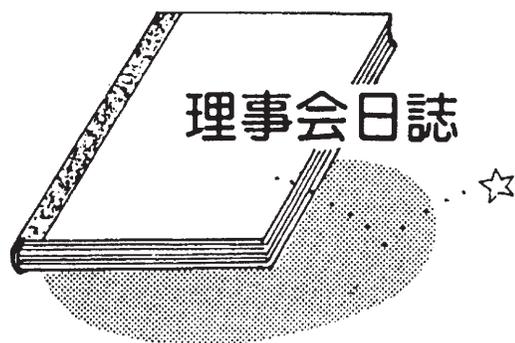
## 【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専門電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

## 【その他】

この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。



平成29年4月4日(火)第1回常任理事協議会

## 医師会関係

### (議決事項)

#### 1. 後援・共催名義等使用許可について

① 5/27(土)(宮観ホテル)第9回2017年度「在宅を支える多職種交流会」名義後援のお願いについて

→在宅医療・在宅ケアを支える職種の方々を対象に「地域で支える神経難病～多職種で力を合わせて緩和ケア～」をテーマに開催される交流会で、名義後援を行うことが承認された。

② 9/16(土)・17(日)(宮崎市)「リレー・フォー・ライフジャパン2017宮崎」に関する後援名義使用のお願いについて

→日本対がん協会が主体となり、がん患者とがん経験者及びその家族を中心に、がん征圧の大切さを社会に訴えるチャリティーイベントで、名義後援を行うことが承認された。

#### 2. 4/8(土)(シーガイア)平成29年度宮崎県臨床研修説明会・講演会／新研修医祝賀会～ALL Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～について

当日、県医師会及び県臨床研修・専門研修運営協議会が主催する一連の行事に対して、進行及び出席者の最終確認が行わ

れた。

#### 3. 平成29年度各郡市医師会・医師国保組合支部等職員研修会について

県医師会及び各郡市医師会(関連団体含む)の事務職員を対象に「サイバーセキュリティ対策」及び「ライフプラン」等の講演を行う研修会で、5月13日(土)に県医師会館で開催することが承認された。

#### 4. 県医師会広報委員会の委員について

宮崎大学医学部医学科所属の学生委員2名が4月1日から交代すること及びこの件を次の全理事協議会に再提出することが承認された。

#### 5. 業務委託について

① 県立学校における長時間勤務職員に対する医師による面接指導に係る業務委託契約について

→1か月あたりの超過勤務が80時間を超え、かつ面接を希望する職員等を対象に行われる面接指導で、引き続き契約を締結することが承認された。

### (報告事項)

#### 1. 3月末日現在の会員数について

#### 2. 3/29(水)(県庁)県立病院事業評価委員会について

#### 3. 国債の購入結果について

#### 4. 3/30(木)(日医)日医医療IT委員会について

#### 5. 4/4(火)(県医)治験審査委員会について

#### 6. 3/29(水)(県医)県医療勤務環境改善支援センター運営協議会について

### 医師連盟関係

#### (報告事項)

#### 1. 5/21(日)(宮観ホテル)「河野しゅんじ県政報告会」のご案内について

## 平成29年 4月11日(火)第2回常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 6/3(土)(熊本)九州医師会連合会第363回常任委員会並びに九州ブロック日医代議員連絡会議の開催について

河野会長及び富田・濱田副会長，立元常任理事の出席が承認された。また常任委員会の提案事項等については，河野会長に一任することとなった。

## 2. 本会外の役員等の推薦について

## ①平成29年度宮崎県学校保健会役員の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で，県学校保健会の会長を務める河野会長の他，理事に富田副会長と高村常任理事，監事に糸数理事，評議員に吉田常任理事を推薦することが承認された。

## 3. 地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について

日医が例年同様，5月1日～10月31日の6か月間，地球温暖化防止に向けて夏の軽装に取り組むことから，本会でも同じ期間，クールビズ等の対応を行うことが承認された。

## 4. 6/17(土)(県医)県医師会定例代議員会及び総会等について

6月17日14:30から県医師協同組合総代会，県医師連盟執行委員会，県医師会定例代議員会，自見はなこ参議院議員の記念講演会，県医師会総会，懇談会を開催すること等のタイムスケジュールが承認された。

## 5. ピンクリボン活動みやざき賛同団体の継続確認及び賛助金のご協力について

主に乳がんの早期発見・診断・治療の重要性を訴える活動を行っており，引き続き

賛同団体となること及び協賛することが承認された。

## (報告事項)

- 4/7(金)(ニューウェルシティ宮崎)フィオーレKOGA看護専門学校入学式について
- 4/8(土)(シーガイア)宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会について
- 4/8(土)(熊本)九州各県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会について
- 4/7(金)(日医)日医勤務医委員会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

## 1. 5/27(土)(JA-AZM)定期大会代議員会名簿の提出について

例年，定期大会の前に確認が行われるもので，県医師連盟役員で自民党党員の8名(河野委員長，富田・濱田・立元・吉田・佐々木(幸)常任執行委員，小牧・池井執行委員)を，代議員とすることが承認された。

## 2. 県連表彰者の推薦依頼について

党籍20年以上で特に功績のある方を対象とするもので，県医師連盟担当役員経験者及び郡市医師連盟委員長経験者を年齢順で5名推薦することが承認された。

## 3. 5/16(火)(東京)羽生田たかし参議院議員「明日の医療を語る会」への協力について

九州各県医師連盟の支援状況を踏まえ，当日の会に協力することが承認された。

## 4. 5/21(日)(宮観ホテル)「河野しゅんじ県政報告会」への協力について

橋本聖子参議院議員を講師に招き開催する県政報告会で，県医師連盟として協力することが承認された。またその他の関係団体にも協力をお願いすることとなった。

## 5. 賛助会員継続のお願いについて

清山知憲県議会議員を，今後も最重点候補として包括的に支援することを確認する

とともに賛助会員を継続することが承認された。

**(報告事項)**

1. 4/9(日)(宮観ホテル)水月会宮崎セミナーについて

平成29年4月18日(火)第3回常任理事協議会

**医師会関係**

**(議決事項)**

1. 本会外の役員等の推薦について

①生活福祉資金「貸付審査等運営委員会」の委員への推薦について

→生活福祉資金貸付制度の適正な運営を図るために設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き立元常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①6/25(日)(宮崎市保健所)宮崎県糖尿病講習会の名義後援の依頼について

→「食」に関するグループディスカッションや運動教室、自己血糖測定等を行う糖尿病の患者さんや家族に対する講習会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 6/2(金)(日医)第7回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして—都道府県医師会の取組みおよびケーススタディから学ぶ医の倫理—」の開催について

「これからの看取りに関する課題」、「倫理教育の今後の在り方」等をテーマに開催されるワークショップで、関係役員を中心に参加者を調整することが承認された。

4. 6/25(日)(日医)第140回日本医師会定例代議員会の開催について

主に平成28年度決算等を審議する代議員会で、河野会長、富田・濱田副会長、立元常任理事が出席することが承認された。

5. 7/8(土)(福岡)九州医師会連合会第364回常任委員会の開催について

福岡県が九医連の担当となり初めて開催される常任委員会で、河野会長と奥様、事務局長が出席することが承認された。

6. 平成29年度医療機関経営セミナーの開催について

医業経営に係る税制・税務の理解を深めることを目的とする研修会で、日本医師会の要請に応じ、県医師協同組合を主体に開催することが承認された。

7. 業務委託について

①平成29年度妊婦及び乳幼児健康診査に係る業務委託契約及び審査事務委託契約について

→妊婦健診は14回計108,410円(全額公費負担と一部公費負担の2つの契約形式)、乳児は1回5,875円、支払に係る審査事務費は1件あたり51円で契約すること及び市町村によって、子宮頸がん、HPV、退院1週間、新生児聴覚スクリーニング、産後2週間、1か月健診等含め契約を締結することが承認された。

②平成29年度医療労務管理支援事業の受託依頼について

→医療従事者の勤務環境改善に係る取組みを推進するため、周知・広報活動、相談及び個別支援、研修会の運営等を行う事業で、契約を締結することが承認された。

③平成29年度産業医研修事業の実施について

→産業医研修大綱及び産業医研修事業委託要綱に基づき研修会及び連絡協議会の開催を行う事業で、契約を締結することが承認された。

## 8. 8/5(土)・6(日)(佐賀)平成29年度九州学校 検診協議会及び第61回九州ブロック学校保 健・学校医大会の開催について

「健やかな成長を願って～守ろう、こころ・からだ・いのち～」をメインテーマに佐賀県で開催される協議会で、本会から河野会長、富田副会長、高村常任理事、学校医部会の高木理事、宮田理事が出席することが承認された。

### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 4/12(水)(支払基金)支 払 基 金 幹 事 会 に  
ついて
3. 4/14(金)(県医)広報委員会について
4. 4/15(土)(県医)保育支援事業スキルアップ  
研修会(養成講座)について
5. 4/13(木)(県医)県糖尿病対策推進会議小幹  
事会について
6. 4/17(月)(県医)県プライマリ・ケア研究会  
学術広報委員会について

平成29年 4月25日(火)第1回全理事協議会

### 医師会関係

#### (議決事項)

#### 1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県医療計画策定委員会委員の推薦について  
→医療法に基づく新たな医療計画(第7次)を策定するにあたり、関係団体の実務者を集め開催する委員会で、富田副会長、池井・石川常任理事の3名を推薦することが承認された。
- ②宮崎県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について  
→任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き川野・佐藤理事を推薦することが承認さ

れた。また同研究会において、専門分科医会への働きかけ方法等についても検討することとなった。

③宮崎県移植推進財団役員の推薦について  
→移植医療の普及啓発及び体制整備等を目的に設置された財団で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き濱田副会長を推薦することが承認された。

④介護給付費審査委員会委員の推薦について  
→介護給付費請求の適正な審査に資することを目的に設置される委員会で、現委員の途中退任に伴い、新たに石川常任理事を推薦することが承認された。なお、任期は残任期間の平成30年3月末まで。

#### 2. 平成29年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

医療及び医療の推進に精励し、格別の功績があった方に対して贈られる表彰で、郡市医師会に照会し、年齢及び役員歴を考慮の上、6名の会員を推薦することが承認された。

#### 3. 第140回日本医師会定例代議員会(6月25日(日)日医)における九州ブロック代表質問・個人質問について

出席予定の4名の日医代議員及び本会役員で質問事項がある場合には事務局へ申し出る事となった。また、その取扱いについては河野会長に一任することが承認された。

#### 4. 5/13(土)(日医)各国におけるヘルスデータベースの現状と課題に関する国際会議について

台北宣言の採択を受け、ヘルスデータベースの現状と課題をテーマに、セキュリティ、個人情報保護、データの利活用に焦点をあて開催される国際会議で、荒木常任

理事が出席することが承認された。

#### 5. 会費減免申請について

県医師会と日医の疾病による会費減免2名(新規及び継続)と出産育児による会費減免1名(新規)が承認された。

#### 6. 5/26金(東京)平成29年度全国メディカルコントロール協議会連絡会について

「救急医療における各種連携の今後」及び「救急関連ビックデータ利用の現状」等をテーマに開催される連絡会議で、米澤理事が出席することが承認された。

#### 7. 県医師会広報委員会の委員について

4月4日の常任理事協議会で先に協議された事項で、改めて宮崎大学医学部医学科所属の学生委員2名が4月1日から就任することが承認された。

#### 8. 5・6月の行事予定について

5月の追加行事の確認が行われた。また、5月は火曜日が5週あることから、5月16日に開催予定の常任理事協議会を休会とすることが承認された。

#### (報告事項)

1. 4/19水(県医)九州厚生局宮崎事務所との保険医療機関の指導計画等打合せについて
2. 4/21金(県医)広報委員会について

3. 4/24月(県医)県臨床研修・専門研修運営協議会について

4. 3/29水(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

5. 3/16木・4/20木(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について

6. 3/16木(県庁)県高次脳機能障がい支援連絡会議について

#### 7. その他

- ①本会が開催する会議の旅費及び謝礼等の支払方法について

#### 医師協同組合理事・運営委員合同協議会(報告事項)

1. 4/25火(県医)医協理事会について

#### 医師連盟関係

#### (議決事項)

1. 「希望ある未来を拓く」政経セミナー発起人のお願いについて(衆議院議員江藤拓連合後援会本部事務所事務局長より)

県医師連盟委員長として発起人に就任することが承認された。今後、同様の依頼があった場合、本会が推薦した国会議員であれば発起人を引き受けることとするが、会議への出席やパーティ券の購入等については、切り離して協議することが承認された。

## お知らせ

### クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成29年5月1日より平成29年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 県 医 の 動 き

( 5 月 )

|    |                                                                                                 |    |                                                                                                                        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 県内科医会学術委員会(小牧常任理事)                                                                              | 21 | (東京)全国有床診療所連絡協議会役員会<br>(川野理事)<br>河野しゅんじ県政報告会                                                                           |
| 2  | 治験審査委員会(富田副会長他)<br>第4回常任理事協議会(会長他)                                                              | 22 | 広報委員会(荒木常任理事他)<br>県臨床研修・専門研修運営協議会WG<br>(金丸常任理事)                                                                        |
| 9  | 医協理事会(富田理事長他)<br>第5回常任理事協議会(会長他)                                                                | 23 | 医協打合せ会(立元副理事長)<br>第6回常任理事協議会(会長他)<br>母体保護法指定医師審査委員会<br>(濱田副会長他)                                                        |
| 10 | (日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会(金丸常任理事他)<br>支払基金幹事会(会長)<br>県警察医会協議会                                     | 24 | (東京)全国医師国保組合連合会代表者会<br>(秦理事長)                                                                                          |
| 11 | 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長他)                                                                            | 25 | (日医)日医公衆衛生委員会(吉田常任理事)                                                                                                  |
| 12 | (香川)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(金丸常任理事)<br>認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)(立元常任理事他)                             | 26 | (東京)全国メディカルコントロール協議会連絡会(米澤理事)<br>(熊本)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議(会長)                                                   |
| 13 | (香川)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(金丸常任理事)<br>(日医)各国におけるヘルスデータベースの現状と課題に関する国際会議<br>(荒木常任理事)<br>各都市医師会等職員研修会 | 27 | 新生児蘇生法講習会<br>自民党県連大会(河野委員長)<br>死体検案研修会(会長他)                                                                            |
| 14 | (香川)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(金丸常任理事)                                                                  | 28 | 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会                                                                                                    |
| 15 | 宮大医学部カリキュラム委員会(会長)<br>広報委員会(富田副会長他)                                                             | 29 | 県内科医会理事会(小牧常任理事)<br>県糖尿病対策推進会議幹事会(会長他)<br>県産婦人科医会医療対策委員会<br>(濱田副会長他)                                                   |
| 16 | (日医)日医連常任執行委員会(河野委員長)<br>(日医)都道府県医師会長協議会(会長)<br>(日医)日医連執行委員会(河野委員長)<br>(東京)明日の医療を語る会            | 30 | ピンクリボン活動みやざき実行委員会<br>県医療介護推進協議会(会長他)<br>県医療審議会(会長他)<br>第2回全理事協議会(会長他)                                                  |
| 17 | 保育支援事業打合せ会(荒木常任理事他)                                                                             | 31 | 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会(荒木常任理事)<br>労災診療指導委員会(川野理事他)<br>医協理事会(富田理事長他)<br>県医監事監査(会長他)<br>(都城市北諸県郡医師会館)都城市北諸県郡医師会定時社員総会 |
| 18 | 宮大医学部医の倫理委員会(糸数理事)<br>(日医)日医医療IT委員会(荒木常任理事)<br>医協会計監査(富田理事長他)<br>宮崎市郡医師会5月例会並びにしのめ医学会(会長)       |    |                                                                                                                        |
| 19 | (東京)医療計画策定研修会(池井常任理事)                                                                           |    |                                                                                                                        |
| 20 | 産業医部会総会・研修会(TV会議)(会長他)                                                                          |    |                                                                                                                        |

## 追 悼 の こ と ば

宮崎市郡医師会

福田 實 先生

(昭和元年12月30日生 90歳)

## 弔 辞

本日ここに、今は亡き、  
福田實先生のご霊前に、  
宮崎市郡医師会を代表し  
て、謹んでお別れの言葉  
を申し上げます。

一昨日、先生の突然の  
ご訃報に接し、会員一  
同、深い悲しみに包まれております。

今、こうして先生のご遺影の前に立ち、お別  
れの言葉を申し上げなければならないことは、  
誠に残念、痛恨の極みでございます。まして  
や、奥様をはじめご家族の皆様や先生を慕われ  
る多くの皆様のご心中をお察し申し上げますと  
き、お悲しみは如何ばかりかと胸塞がる思いで  
ございます。

先生は、昭和元年12月30日、3人兄弟のご長  
男として、鹿児島市草牟田町でお生まれにな  
り、幼少にしてその才誉れ高く、昭和24年3  
月、旧制県立鹿児島医学専門学校、現在の鹿児  
島大学医学部を優秀な成績でご卒業になられま  
した。その後、国立岩国病院、国立療養所星塚  
敬愛園、東北大学抗酸菌病研究所、鹿児島大学  
医学部、鹿児島市立病院等で幾多の研鑽を積ま  
れました。その間、昭和33年11月に東北大学か  
ら医学博士の学位を授与されておられます。

先生は、昭和40年1月から昭和42年2月まで  
古賀病院の胃腸科部長を務められておられまし  
たが、同年3月、現在の宮崎市江平中町にて福  
田胃腸科医院をご開業されました。以来、平成  
9年12月まで、30年の歳月をひたすら地域医療

一筋に捧げられ、多くの患者さんの信望を集め  
て、地域に根ざした診療活動を展開されてこら  
れました。

先生のご活躍の場は、日常のご診療だけにと  
どまらず、その卓越した識見と指導力をもつ  
て、医師会活動全般にわたってご指導をいただ  
きました。昭和45年4月から昭和49年3月まで  
宮崎県医師会理事、昭和51年4月から昭和53年  
3月まで宮崎市郡医師会理事、昭和53年4月か  
ら昭和57年3月まで同副会長、昭和57年4月か  
ら昭和59年3月まで宮崎県医師会副会長および  
宮崎県医師国保組合副理事長、その他、宮崎県  
対ガン協会理事、宮崎医科大学第一内科・第二  
内科非常勤講師等を歴任され、医師会の発展と  
宮崎県の医療の向上・推進に献身的にご尽力い  
ただきました。

また、先生は昭和43年6月、消化器疾患につ  
いて研修を行い、レベルアップをはかることを  
目的とした宮崎木曜会を設立され、症例検討を  
中心とした勉強会を長年に亘って開催し開業医  
の医療技術の向上に努めてこられました。この  
間、昭和53年日本消化器内視鏡学会九州地方  
会、昭和63年日本消化器集団検診学会九州地方  
会、平成8年大腸検査法研究会九州支部会な  
ど、多数の学会を開催してこられました。

こうした先生の長年に亘るご功績に対し、昭  
和52年日本対ガン協会賞、昭和61年厚生大臣表  
彰、同年日本消化器集団検診学会有賀(ありが)  
記念学会賞、平成6年日本医師会最高優功賞、  
平成10年宮崎県医療功労者表彰など多くの表彰  
をお受けになりました。

一方、ご診療を離れられた先生は、旅行、読  
書、カメラをご趣味にしておられ、年に数回、  
奥様とお二人で海外にお出かけになっておられ  
たとお聞きいたしております。

ご家庭にありましては、三人のお嬢様に恵まれ、良き父、良き夫であられました。

先生がご逝去されましたことは、私ども会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり誠に残念至極に存じますが、私ども会員一同は、先生のご遺志を継いで地域医療の充実に、なお一層の努力をいたして参りたいと存じます。

福田先生、惜別の情尽くし得ませんが、ここ

に謹んで先生のご霊前に哀悼の意を捧げ、地域医療に対する永年のご功績に心から感謝と敬意を表し、ご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

福田先生どうぞ安らかにお眠り下さい。

平成29年4月28日

公益社団法人 宮崎市郡医師会

会長 川 名 隆 司



## 追 悼 の こ と ば

南那珂医師会

島 田 鳴 海 先生

(昭和13年 9 月 2 日生 78歳)

## 弔 辞

本日ここに、故 島田鳴海先生のご葬儀が執り行われるにあたり、南那珂医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、ご霊前にお別れの言葉申し上げます。

5月10日午後6時9分に先生がお亡くなりになったとの突然のご訃報に接しまして、何とも申し上げる言葉もなく、会員一同驚きと深い悲しみに包まれております。ましてやご家族ご親族の皆様のご悲嘆は如何ばかりかとお察し申し上げ、医師会員一同衷心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和41年3月に久留米大学医学部を卒業になり、昭和42年4月に鹿児島大学医学部第一外科に入局、昭和48年7月から昭和49年2月までの8か月間ハワイホノルル市のクアキニ病院にご勤務になりました。その後、日南市の中部病院や横浜市の山手病院に勤務され、臨床医として経験を積まれました。

昭和53年12月に串間市で外科医として開業されてからは、串間市立北方小学校と中学校及び秋山小学校の学校医として長年に亘り児童の健康管理と保健予防に献身的に取り組み、児童生徒の健やかな成長にも多大な貢献をされました。

また、先生は南那珂医師会の理事として平成4年4月から平成6年3月までの2年間、副会長を平成6年4月から平成12年3月まで6年間、及び、監事として平成18年4月から平成20年3月まで2年間の通算10年間の長い間、医師会の要職を務められる等、私達会員のために医

師会活動にも積極的にご尽力賜りました。

役員を退かれてからも総会などの医師会行事にも積極的に参加され、私達若い会員を励まし、優しくご指導いただきましたことに対しまして、心から御礼申し上げます。

先生のこのような数々のご功績により、平成23年6月には、医療功労による県知事表彰という榮譽を受けておられます。

先生は、入院されてからも「長寿の里」のことを気にかけてられ、“気分転換”と称し、病院を抜け出しては施設の仕事をされていたと伺いました。

このように仕事熱心な先生ですが、スポーツも大好きで、南那珂医師会野球チームの監督を長く務められ、名采配をふるわれては、多くの試合で我々を勝利に導いて下さいました。これも楽しい思い出になりました。

私は、先生と高校、大学が同じでとても可愛がっていただきました。先生とのお別れがとても悲しゅうございます。

これまで先生が地域医療の発展のために尽くしてこられたご功績を忘れることなく、今後も私共は、地域住民の健康を第一に考えて、医師としての倫理を保ちながら、地域住民の医療・保健・福祉の発展の為に日々の診療を行って参る所存でございますので、どうかこれからも、天国より私達会員を見守っていただきたいと思っております。

最後になりましたが、先生の永年に亘る地域医療へのご貢献に対しまして、会員一同深い尊敬と感謝の言葉を捧げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

島田鳴海先生、どうぞ安らかにお眠り下さい。

平成29年 5 月 13 日

一般社団法人 南那珂医師会

会長 島 田 雅 弘

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成29年 5 月15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報がよせられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 3人

## 1) 男性医師求職登録数 3人 (人)

| 希望診療科目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|--------|-------|-----|-------|
| 内 科    | 1     | 0   | 1     |
| 老 健    | 2     | 1   | 1     |

## 2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

| 希望診療科目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|--------|-------|-----|-------|
|        | 0     | 0   | 0     |

## 2. 斡旋成立件数 58人 (人)

|             | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|-------------|------|------|-----|
| 平 成 2 9 年 度 | 2    | 1    | 3   |
| 平成16年度から累計  | 42   | 16   | 58  |

## 3. 求人登録 95件 334人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常 勤 | 非常勤 |
|------------|-----|-----|-----|
| 内 科        | 117 | 88  | 29  |
| 外 科        | 31  | 26  | 5   |
| 整 形 外 科    | 25  | 22  | 3   |
| 精 神 科      | 18  | 16  | 2   |
| 循 環 器 科    | 5   | 4   | 1   |
| 脳 神 経 外 科  | 12  | 9   | 3   |
| 消 化 器 内 科  | 12  | 9   | 3   |
| 麻 酔 科      | 10  | 8   | 2   |
| 眼 科        | 6   | 5   | 1   |
| 放 射 線 科    | 10  | 9   | 1   |
| 小 児 科      | 1   | 0   | 1   |
| 呼 吸 器 内 科  | 11  | 10  | 1   |
| リハビリテーション科 | 5   | 4   | 1   |
| 総合診療科・内科   | 7   | 6   | 1   |
| 神 経 内 科    | 7   | 6   | 1   |
| 救 命 救 急 科  | 7   | 7   | 0   |
| 健 診        | 3   | 1   | 2   |
| 産 婦 人 科    | 1   | 1   | 0   |
| 泌 尿 器 科    | 1   | 0   | 1   |
| 検 診        | 4   | 2   | 2   |
| 皮 膚 科      | 3   | 2   | 1   |
| 人 工 透 析    | 4   | 4   | 0   |
| 在 宅 担 当 医  | 1   | 1   | 0   |
| そ の 他 計    | 33  | 28  | 5   |
| 合 計        | 334 | 268 | 66  |

## 求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施設名                        | 所在地 | 募集診療科                               | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|----------------------------|-----|-------------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字センター                    | 宮崎市 | 検診                                  | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | (医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮崎市 | 脳外, 整, 放, 麻, 内                      | 10  | 常勤・非常勤 |
| 160017 | (医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮崎市 | 乳外, 放, 内, 麻                         | 3   | 常勤     |
| 160020 | (財)弘潤会 野崎病院                | 宮崎市 | 精, 内                                | 2   | 常勤     |
| 160031 | (社医)同心会 古賀総合病院             | 宮崎市 | 呼内, 神内, 眼, 総診, 呼外,<br>臨病, 乳外, 整外, 麻 | 11  | 常勤     |
| 160033 | (医)如月会 若草病院                | 宮崎市 | 精                                   | 2   | 常勤     |
| 170046 | (医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮崎市 | 消内, 内分泌内, 呼内, リウ,<br>神内, 健診         | 6   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | (医)慶明会 けいめい記念病院            | 国富町 | 内, 放, 在宅                            | 3   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院                | 宮崎市 | 内, 神内, 整, 消内                        | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                  | 宮崎市 | 内(緩和), 消内, 呼内, 総診                   | 8   | 常勤     |
| 190094 | (医)耕和会 迫田病院                | 宮崎市 | 総内, 内視鏡                             | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190095 | (医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮崎市 | 眼                                   | 1   | 常勤     |
| 200104 | (医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮崎市 | 内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整,<br>麻           | 7   | 常勤     |
| 200105 | (医)誠友会 南部病院                | 宮崎市 | 内, 外, 放                             | 3   | 常勤     |
| 210110 | (医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮崎市 | 整                                   | 1   | 常勤     |
| 210118 | 慈英病院                       | 宮崎市 | 内, 整, リハ                            | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230128 | (医)真愛会 高宮病院                | 宮崎市 | 内, 精                                | 2   | 常勤     |
| 230132 | (医)康友会 青島クリニック             | 宮崎市 | 内                                   | 1   | 常勤     |
| 230134 | (医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮崎市 | 精                                   | 1   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき         | 国富町 | 内, 外                                | 2   | 常勤     |
| 230143 | (医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮崎市 | 脳外, 内                               | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                     | 宮崎市 | 総内, 呼内, 消内, 健診                      | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | (財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮崎市 | 内, 神内, 外, 整, 脳外, リハ,<br>麻, 救急, 緩和   | 10  | 常勤     |
| 230148 | (医)コムロ美容外科                 | 宮崎市 | 美外, 形成外, 外, 麻                       | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | (医)健心会 滝口内科医院              | 宮崎市 | 内                                   | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230164 | 宮崎県保健所                     | 宮崎市 | 公衆衛生                                | 3   | 常勤     |
| 230165 | 野崎病院健診センター                 | 宮崎市 | 健診                                  | 1   | 非常勤    |
| 230171 | (医)いなほ会 日高医院               | 宮崎市 | 内                                   | 1   | 非常勤    |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会             | 宮崎市 | 内, 小, 整                             | 1   | 常勤     |
| 230177 | (医)社団尚成会 近間病院              | 宮崎市 | 内, 消内, 消外, 放(いずれか)                  | 1   | 常勤・非常勤 |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑              | 宮崎市 | 内                                   | 1   | 常勤     |
| 230180 | (社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院      | 宮崎市 | 内, 糖内, 呼内, 血内                       | 4   | 常勤     |
| 160008 | (医)正立会 黒松病院                | 都城市 | 泌                                   | 1   | 非常勤    |
| 160010 | (特医)敬和会 戸嶋病院               | 都城市 | 内, 消内, 整, 神内                        | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | (医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都城市 | 内, 救急, 放, 脳外, 外, 眼,<br>透内, 皮        | 8   | 常勤     |
| 170057 | (医)清陵会 隅病院                 | 都城市 | 内, 外, 整                             | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター             | 都城市 | 内, 呼内, 総診                           | 4   | 常勤     |
| 180081 | (医)恵心会 永田病院                | 都城市 | 精                                   | 1   | 常勤     |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                  | 都城市 | 内, 呼内                               | 6   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                       | 都城市 | 精, 内                                | 3   | 常勤     |
| 230127 | (医)倫生会 三州病院                | 都城市 | 外, 内, 整                             | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑              | 都城市 | 不問                                  | 1   | 常勤     |

| 登録番号   | 施設名                    | 所在地   | 募集診療科                            | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|------------------------|-------|----------------------------------|-----|--------|
| 230137 | 医) 宏仁会 海老原内科           | 都 城 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医) 魁成会 宮永病院            | 都 城 市 | 内, リハ                            | 2   | 常勤     |
| 230153 | 都城健康サービスセンター           | 都 城 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 230157 | 医) 一誠会 都城新生病院          | 都 城 市 | 精, 内                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230162 | 藤元総合病院                 | 都 城 市 | 内, 透, 循内, 救急, 放, 病理,<br>呼内, 精    | 16  | 常勤     |
| 230172 | 医) 静雄会 藤元上町病院          | 都 城 市 | 内                                | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230176 | 一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム | 三 股 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230179 | 医) 与州会 柳田クリニック         | 都 城 市 | 外                                | 1   | 非常勤    |
| 230181 | 介護老人保健施設 はまゆう          | 三 股 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230183 | 医) 恵心会 坂元医院            | 都 城 市 | 消内, 老人内                          | 2   | 非常勤    |
| 160012 | 医) 伸和会 共立病院            | 延 岡 市 | 外, 整, 放, 内                       | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医) 建悠会 吉田病院            | 延 岡 市 | 精                                | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医) 健寿会 黒木病院           | 延 岡 市 | 外, 内, 緩和                         | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                   | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 200100 | 医) 育生会 井上病院            | 延 岡 市 | 産婦, 内                            | 2   | 常勤     |
| 200102 | 延岡市医師会病院               | 延 岡 市 | 消内, 消外, 内                        | 5   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター            | 延 岡 市 | 内, 小                             | 2   | 非常勤    |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ        | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230156 | 医) 中心会 野村病院            | 延 岡 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック            | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 160039 | 医) 誠和会 和田病院            | 日 向 市 | 外, 内, 整, 神内                      | 6   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院            | 門 川 町 | 内                                | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院          | 美 郷 町 | 内, 整                             | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所         | 美 郷 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院               | 日 向 市 | 内, 整                             | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院                | 都 農 町 | 内, 放, 外                          | 3   | 常勤     |
| 160023 | 医) 宏仁会 海老原総合病院         | 高 鍋 町 | 内, 腎内, 麻, 総診, 外, 整,<br>脳外, 眼, 検診 | 13  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設なでしこ園          | 高 鍋 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 160024 | 医) 隆徳会 鶴田病院            | 西 都 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 150002 | 医) 慶明会 おび中央病院          | 日 南 市 | 内, 外, 整                          | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医) 同仁会 谷口病院            | 日 南 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 160022 | 医) 愛鍼会 山元病院            | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤     |
| 160037 | 医) 十善会 県南病院            | 串 間 市 | 精, 内(いずれか)                       | 1   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院               | 日 南 市 | 内, 外, 整, リハ, 在宅                  | 5   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院                 | 串 間 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 230138 | 小玉共立外科                 | 日 南 市 | 不問                               | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里           | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230166 | 医) 秀英会 英医院             | 串 間 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医) 月陽会 きよひで内科クリニック     | 日 南 市 | 内                                | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230182 | 串間市市木診療所               | 串 間 市 | 総診, 内(いずれか)                      | 1   | 常勤     |
| 160019 | 医) 相愛会 桑原記念病院          | 小 林 市 | 内, 皮                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医) 和芳会 小林中央眼科          | 小 林 市 | 眼                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院                 | 小 林 市 | 救急, 総診, 放                        | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医) 友愛会 園田病院            | 小 林 市 | 外, 循内, 整, 脳外                     | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医) 浩然会 内村病院           | 小 林 市 | 精, 内                             | 3   | 常勤     |
| 190091 | 医) 友愛会 野尻中央病院          | 小 林 市 | 整, 内                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230155 | 医) 三和会 池田病院            | 小 林 市 | 脳外, 内, 放, 外, リハ                  | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設さわやかセンター       | 小 林 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医) 連理会 和田クリニック         | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤     |
| 230173 | 医) 高千穂会 大森内科           | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院           | 五ヶ瀬町  | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院               | 高千穂町  | 内, 透                             | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院               | 日之影町  | 内, 整                             | 1   | 常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成29年5月15日現在

|                 |                                                                                                                                                  |                                       |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | ①宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番，2634番<br>土地のみ：2022.17㎡(593.57坪)                                                                                               | 所有者：児湯医師会員<br>(医) 崧雲会 林クリニック          |
|                 | ②西都市中央町2丁目6番地<br>土地：2,280.83㎡(691.16坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br>1階 674.74㎡ }<br>2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪)<br>3階 177.95㎡ }<br>※別途駐車場あり(20台) | 所有者：西都市西児湯医師会員<br>函師医院跡               |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | ①小林市南西方49番地1<br>土地：1,991.34㎡(603.43坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建<br>1階 471.41㎡ }<br>2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪)<br>※駐車場あり(30台)                    | 所有者：西諸医師会員<br>(医) 社団 産婦人科<br>生駒クリニック跡 |
|                 | ②日向市鶴町2丁目9番15号<br>土地：792㎡(240坪)<br>建物：RC造 鉄骨造<br>1階 237.49㎡ }<br>2階 338.25㎡ } 913.99㎡(276.96坪)<br>3階 338.25㎡ }<br>※別途駐車場あり(10台)                  | 所有者：日向市東臼杵郡医師会員<br>三ヶ尻整形外科跡           |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 **ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、

裏面の用紙をご利用ください。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX: 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前：

ご所属：

T E L :

F A X :

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年 5 月 30 日

| 6  |   | 月                                                                                                                                                        |      |                                                                                 |        |
|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 1  | 木 | 19:00 県内科医会評議員会<br>19:00 医師国保組合理事会                                                                                                                       | 14 水 | 16:00 支払基金幹事会<br>18:30 県急性期脳卒中医療協議会・講演会<br>19:00 医家芸術展世話人会                      |        |
| 2  | 金 | 13:30 (日医)日医ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」<br>14:00 (日医)救急災害医療対策委員会                                                                                            | 15 木 | 13:30 社会保険医療担当者(医科)の個別指導<br>19:00 広報委員会                                         |        |
| 3  | 土 | 14:30 九州連合産科婦人科学会・九州ブロック産婦人科医会<br>16:00 九医連常任委員会<br>17:00 九州ブロック日医代議員連絡会議<br>17:10 全国医師協同組合連合会購買部・福祉部合同研修会                                               | 16 金 | 13:30 宮大経営協議会<br>15:40 宮大学長選考会議<br>19:30 県産婦人科医会県との妊婦健診公費負担に関する協議会              |        |
| 4  | 日 | 8:30 九州連合産科婦人科学会・九州ブロック産婦人科医会<br>17:10 全国医師協同組合連合会購買部・福祉部合同研修会                                                                                           | 17 土 | 14:30 医協通常総代会<br>15:05 県医連執行委員会<br>15:30 県医定例代議員会<br>16:45 国政報告会<br>17:30 県医総会  | ↑<br>国 |
| 5  | 月 | 19:00 県有床診療所協議会役員会                                                                                                                                       | 18 日 | 10:30 eレジフェアin福岡<br>17:00 県小児科医会役員会                                             | 保      |
| 6  | 火 | 15:00 県学校保健会理事・評議員会<br>16:00 学校保健・学校安全に係る表彰審査会<br>18:00 治験審査委員会<br>19:00 第1回理事会<br>終了後 第3回全理事協議会                                                         | 19 月 | 18:30 勤務医部会会計監査<br>19:00 医師国保組合同定事務監査<br>19:00 勤務医部会理事会                         | 審<br>査 |
| 7  | 水 | 15:30 (日医)日医医療秘書認定試験委員会                                                                                                                                  | 20 火 | 18:00 地域医療構想に係る意見交換会                                                            | ↓      |
| 8  | 木 | 13:30 社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導<br>16:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会<br>18:30 県整形外科医会会計監査<br>19:00 学校医部会理事・評議員会<br>19:30 県産婦人科医会常任理事会<br>終了後 日本産科婦人科学会専門医制度宮崎地方委員会 | 21 水 | 18:30 県アイバンク協会理事会<br>19:00 広報委員会                                                | ↓      |
| 9  | 金 | 17:30 宮大医学部6年生対象マッチング&県内基幹型臨床研修病院合同説明会<br>19:00 県医師会医学会役員会                                                                                               | 22 木 | 18:30 児湯医師会総会                                                                   | ↑      |
| 10 | 土 | 14:30 産業医研修会(実地)<br>15:00 日向市東臼杵郡医師会定時総会<br>16:15 県内科医会総会<br>19:00 県整形外科医会理事会                                                                            | 23 金 | 15:00 県総合計画審議会・県地方創生推進懇話会<br>17:30 西諸医師会定時総会                                    | ↑      |
| 11 | 日 | 13:00 医療メディエーター養成研修会導入編                                                                                                                                  | 24 土 | 16:00 県専門研修合同説明会<br>19:00 九州ブロック日医代議員連絡会懇親会                                     | ↓      |
| 12 | 月 | 18:30 病院部会・医療法人部会総会<br>19:00 県内科医会会誌編集委員会                                                                                                                | 25 日 | 9:00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議<br>9:30 (日医)日医定例代議員会                                   | 社      |
| 13 | 火 | 19:00 第7回常任理事協議会                                                                                                                                         | 26 月 | 19:00 西都市西児湯医師会定時総会<br>19:00 宮崎市郡医師会予防接種勉強会(TV会議)<br>19:00 県内科医会医療保険委員会         | 保<br>審 |
|    |   |                                                                                                                                                          | 27 火 | 14:00 県移植推進財団評議員会<br>18:15 医協理事会<br>19:00 第8回常任理事協議会                            | ↓      |
|    |   |                                                                                                                                                          | 28 水 | 14:00 (日医)日医学術推進会議<br>15:00 労災診療指導委員会                                           | ↓      |
|    |   |                                                                                                                                                          | 29 木 | 19:00 園医部会理事会<br>19:30 延岡市医師会定時総会                                               |        |
|    |   |                                                                                                                                                          | 30 金 | 18:30 全国有床診療所連絡協議会総会会長招宴<br>18:40 勤務医部会総会<br>19:00 勤務医部会前期講演会<br>19:00 県内科医会理事会 |        |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからもご覧いただけます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年 5 月 30 日

|                                                     |                            | 7 月            |                               |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
|-----------------------------------------------------|----------------------------|----------------|-------------------------------|----------------|------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1                                                   | 土                          | 全国有床診療所連絡協議会総会 |                               | 14             | 金 14:00 (日医)日医勤務医委員会         |                                   |                                                                   |                       |
| 2                                                   | 日                          | 10:00          | 全国有床診療所連絡協議会総会<br>レジナビフェアin大阪 | 15             | 土                            | 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会               |                                                                   |                       |
| 3                                                   | 月                          |                |                               | 16             | 日                            | 10:00 レジナビフェアin東京                 |                                                                   |                       |
|                                                     |                            |                |                               | 17             | 月                            | (海の日)                             |                                                                   |                       |
| 4                                                   | 火                          | 18:00<br>19:00 | 治験審査委員会<br>第9回常任理事協議会         | 18             | 火                            | 19:00 第10回常任理事協議会                 |                                                                   |                       |
|                                                     |                            |                |                               | 19             | 水                            |                                   |                                                                   |                       |
| 5                                                   | 水                          | 14:00          | 九州地方社会保険医療協議会総会<br>(予定)       | 20             | 木                            | 19:00 学術生涯教育委員会                   | ↑                                                                 |                       |
| 6                                                   | 木                          |                |                               | 21             | 金                            | 15:00 (日医)日医予防接種・感染症<br>危機管理対策委員会 | ↑                                                                 |                       |
| 7                                                   | 金                          | 13:30          | 県地方独立行政法人評価委員会                |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
| 8                                                   | 土                          | 11:30          | 県認知症高齢者グループホーム連<br>絡協議会理事会    | 22             | 土                            | 13:30<br>15:00                    | 人体シミュレータを用いた在<br>宅医療研修会<br>男女共同参画フォーラム<br>九州地区医師会立共同利用施<br>設連絡協議会 | 国<br>保<br>審<br>査<br>↓ |
|                                                     |                            | 13:30          | 県認知症高齢者グループホーム連<br>絡協議会総会・研修会 |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
|                                                     |                            | 15:00          | 県外科医会理事・評議員会                  | 23             | 日                            | 9:00                              | 人体シミュレータを用いた在<br>宅医療研修会<br>九州地区医師会立共同利用施<br>設連絡協議会                |                       |
|                                                     |                            | 15:00          | 県整形外科医会評議員会                   |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
|                                                     |                            | 15:30          | 県外科医会総会                       | 24             | 月                            | 19:00                             | 広報委員会                                                             |                       |
|                                                     |                            | 15:30          | 県整形外科医会総会                     |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
|                                                     |                            | 16:00          | 九州医師協同組合連合会購買・保<br>険部会        | 25             | 火                            | 15:00<br>19:00                    | 県総合計画審議会・県地方創生推<br>進懇話会<br>第11回常任理事協議会                            |                       |
|                                                     |                            | 16:10          | 労災部会総会                        |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
| 17:00                                               | 県外科医会・県整形外科医会・労<br>災部会合同学会 | 26             | 水                             | 15:00          | 労災診療指導委員会                    |                                   |                                                                   |                       |
| 18:00                                               | 九医連常任委員会                   |                |                               |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
| 19:00                                               | 九州医連連絡会常任執行委員会             | 27             | 木                             | 15:00<br>19:00 | (日医)日医医療IT委員会<br>医師国保組合通常組合会 | ↑                                 |                                                                   |                       |
| 9                                                   | 日                          | 11:00          | 九医連視察                         |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
| 10                                                  | 月                          |                |                               | 28             | 金                            | 13:00<br>15:00                    | 九州各県アイバンク連絡協議<br>会・全国アイバンク連絡協議会<br>(日医)日医公衆衛生委員会                  |                       |
| 11                                                  | 火                          | 18:30          | 第4回全理事協議会                     | 29             | 土                            | 9:00                              | 医療メディエーター養成研修<br>会基礎編                                             | 社<br>保<br>審<br>査<br>↓ |
|                                                     |                            | 19:00          | 県福祉保健部・病院局との意見交<br>換会         |                |                              | 9:00                              | 医療メディエーター養成研修<br>会基礎編                                             |                       |
|                                                     |                            | 19:30          | 県福祉保健部・病院局との懇談会               |                |                              | 9:15                              | 日本産婦人科医会性教育指導<br>セミナー全国大会                                         |                       |
| 12                                                  | 水                          | 16:00          | 支払基金幹事会                       | 30             | 日                            | 9:55                              | 地域包括加算・地域包括診療<br>料に係るかかりつけ医研修会<br>(日医TV会議)                        |                       |
|                                                     |                            | 19:00          | 広報委員会                         |                |                              | 12:00                             | 日本プライマリ・ケア連合学<br>会九州支部役員会                                         |                       |
| 13                                                  | 木                          | 19:00          | 医師国保組合理事会                     |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
|                                                     |                            | 19:30          | 県産婦人科医会常任理事会                  |                |                              |                                   |                                                                   |                       |
| ※都合により、変更になることがあります。<br>行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。 |                            |                |                               | 31             | 月                            |                                   |                                                                   | ↓                     |

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日 本 医 師 会 生 涯 教 育 講 座 認 定 学 会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                                 | 演 題                                                                                                                                                                                                                       | CC<br>(単位)<br>がん検診 | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>6月1日(木)<br>14:30～16:30<br>県医師会館                              | <b>作業現場における暑熱環境対策</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br><div style="text-align: right;">江藤 敏治</div><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                                                                              | 9<br>(0.5)         | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511                  |
|                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                           | 11<br>(0.5)        | ◇共催<br>宮崎県医師会                                            |
|                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                           | 31<br>(0.5)        |                                                          |
|                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                           | 32<br>(0.5)        |                                                          |
| <b>延岡医学会学術講<br/>演会</b><br>6月2日(金)<br>19:00～20:45<br>ホテルメリージュ<br>延岡                       | <b>潤和会記念病院のてんかん診療の紹介</b><br><b>— 県北の患者のために活用するには —</b><br>潤和会記念病院神経内科部長<br><div style="text-align: right;">矢澤 省吾</div><br><hr/> <b>てんかんの診断と治療</b><br>静岡てんかん・神経医療センター神経内科医長<br><div style="text-align: right;">寺田 清人</div> | 12<br>(0.5)        | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>大塚製薬(株)<br>ユーシービージャパン(株)          |
|                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                           | 14<br>(0.5)        | ◇後援<br>県北小児科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300       |
| <b>第13回宮崎消化器<br/>内科セミナー</b><br>6月2日(金)<br>19:00～21:00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎<br><br>参加費：500円 | <b>酸関連疾患と酸分泌抑制剤の最前線</b><br>日本赤十字社福岡赤十字病院副院長<br><div style="text-align: right;">青柳 邦彦</div><br><hr/> <b>膵癌の診断と治療 up to date</b><br>福岡大学筑紫病院消化器内科教授<br><div style="text-align: right;">植木 敏晴</div>                          | 52<br>(1.0)        | ◇主催<br>宮崎消化器内科セミナー<br>◇共催<br>※武田薬品工業(株)<br>☎0985-24-6763 |
|                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                           | 73<br>(1.0)        |                                                          |

| 名称・日時・場所                                                                                               | 演 題                                                                                                                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------|
| <b>第14回宮崎膠原病<br/>リウマチ治療研<br/>究会</b><br>6月2日(金)<br>19:10～20:50<br>宮崎観光ホテル<br>参加費:500円                   | <b>症例検討会:</b><br><b>RA患者における生物学的製剤と手術について(Ninjaか<br/>らみた)</b><br>都城医療センター副院長 税所 幸一郎<br><b>生物学的製剤使用中の関節リウマチにおける入院治療<br/>を要した感染症の検討</b><br>宮崎大学医学部内科学講座<br>免疫感染病態学分野助教 松田 基弘 | 73<br>(0.5)                | ◇主催<br>宮崎膠原病リウマチ治療研究会<br>◇共催<br>※田辺三菱製薬(株)<br>☎0985-32-9205  |
|                                                                                                        | <b>高齢関節リウマチ患者の問題点と対策</b><br>近藤リウマチ・整形外科クリニック院長<br>近藤 正一                                                                                                                    | 19<br>(1.0)                |                                                              |
| <b>第24回ひむか骨関<br/>節・脊椎脊髄疾患<br/>セミナー</b><br>6月3日(土)<br>15:15～18:30<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター<br>参加費:1,000円 | <b>上位頸椎損傷 損傷型に応じた治療法の選択</b><br>東海大学医学部外科学系整形外科学教授<br>渡辺 雅彦                                                                                                                 | 57<br>(0.5)<br>63<br>(0.5) | ◇主催<br>ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー<br>◇共催<br>※第一三共(株)<br>☎0985-23-5710 |
|                                                                                                        | <b>外来診療に役立つ骨・軟部腫瘍の知識</b><br>東邦大学医学部整形外科学講座主任教授<br>土谷 一晃                                                                                                                    | 61<br>(1.0)                |                                                              |
|                                                                                                        | <b>特発性側弯症の病態と治療ー乳幼児期から成人までー</b><br>慶應義塾大学医学部整形外科学教室教授<br>松本 守雄                                                                                                             | 59<br>(0.5)<br>60<br>(0.5) |                                                              |

| 名称・日時・場所                                                                        | 演 題                                                                                         | CC<br>(単位)<br>がん検診             | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第41回 宮崎CT研究会</b><br>6月3日(土)<br>16:20～19:00<br>MRT-micc<br><br>参加費:500円       | <b>症例検討会:</b><br><b>小児水頭症患者を対象とした頭部CT撮影における低線量プロトコルの検討, 他</b><br>宮崎大学医学部附属病院放射線部 松岡 孝洋<br>他 | 9<br>(0.5)                     | ◇主催<br>宮崎CT研究会<br>◇共催<br>※バイエル薬品(株)<br>☎0120-077-552                          |
|                                                                                 | <b>MRI最近の進歩ー拡散MRIを中心にー</b><br>順天堂大学医学研究科放射線医学主任教授<br>青木 茂樹                                  | 30<br>(1.0)                    |                                                                               |
| <b>循環器疾患検討会<br/>特別講演会</b><br>6月6日(火)<br>19:00～20:10<br>宮崎観光ホテル                  | <b>心電図の読影をめぐる: 不整脈・狭心症・心不全診療のFirst Stepとして</b><br>心臓血管研究所長 山下 武志                            | 42<br>(0.5)<br><br>43<br>(0.5) | ◇主催<br>循環器疾患検討会<br>◇共催<br>※エーザイ(株)<br>☎0985-26-2676                           |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>6月7日(水)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                     | <b>ストレスチェック制度導入ガイド</b><br>産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授<br>鶴 紀子<br><br>生涯研修の専門研修会: 2単位                | 1<br>(0.5)                     | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                      |
|                                                                                 |                                                                                             | 5<br>(0.5)                     |                                                                               |
|                                                                                 |                                                                                             | 7<br>(0.5)                     |                                                                               |
|                                                                                 |                                                                                             | 69<br>(0.5)                    |                                                                               |
| <b>延岡医学会学術<br/>講演会(禁煙支援<br/>スキルアップセミナー)</b><br>6月8日(木)<br>18:30～20:00<br>県立延岡病院 | <b>医師と看護師による円滑な禁煙外来の進め方を考える</b><br>産業医科大学若松病院呼吸器内科診療教授<br>吉井 千春                             | 4<br>(0.5)<br><br>46<br>(0.5)  | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>県立延岡病院<br>ファイザー(株)<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |

| 名称・日時・場所                                                       | 演 題                                                                      | CC<br>(単位)<br>がん検診 | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                              |
|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第5回在宅医療実践のための多職種協働研修会<br>6月8日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館       | 非がん慢性疾患により最期の受け入れが困難であった1症例<br>いしかわ内科<br>川越 誠志                           | 73<br>(1.5)        | ◇主催<br>宮崎市郡在宅医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119                                           |
| 延岡医学会学術講演会<br>6月9日(金)<br>19:00～20:30<br>マリエールオーク<br>パイン延岡      | 抗血栓薬起因性消化管障害の治療戦略<br>－循環器の立場から－<br>済生会熊本病院心臓血管センター<br>循環器内科部長<br>坂本 知浩   | 50<br>(0.5)        | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>武田薬品工業(株)<br>大塚製薬(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
|                                                                | GERDの治療戦略－難治性GERD含めて－<br>大阪医科大学附属病院消化器内視鏡センター長<br>竹内 利寿                  | 52<br>(0.5)        |                                                                                                  |
| 第1回都城市CKD予防連携医研修会<br>6月9日(金)<br>19:00～20:30<br>都城市北諸県郡<br>医師会館 | 都城市におけるCKD連携システムについて<br>都城市健康部健康課特定健診担当主査<br>田中 千恵                       | 11<br>(0.5)        | ◇主催<br>※都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711<br>◇共催<br>中外製薬(株)<br>◇後援<br>都城市                              |
|                                                                | 地域でのCKD連携<br>－CKD重症化予防に必要な診療知識－<br>宮崎大学医学部医学科<br>血液・血管先端医療学講座教授<br>藤元 昭一 | 12<br>(1.0)        |                                                                                                  |
| 宮崎県医師会産業医研修会<br>6月10日(土)<br>14:30～16:30<br>県医師会館               | 作業環境測定の実際－各種環境測定を行ってみよう－<br>宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野教授<br>黒田 嘉紀              | 0<br>(0.5)         | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                                  |
|                                                                |                                                                          | 7<br>(0.5)         |                                                                                                  |
|                                                                |                                                                          | 9<br>(0.5)         |                                                                                                  |
|                                                                |                                                                          | 11<br>(0.5)        |                                                                                                  |

| 名称・日時・場所                                                                                     | 演 題                                                                                                                                                                                                                                                 | CC<br>(単位<br>がん機診)                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第21回 宮崎NST<br/>研究会</b><br>6月10日(土)<br>15:00～18:25<br>メディキット県民<br>文化センター<br><br>参加費:1,000円 | <b>感染対策と栄養, どちらが大事?</b><br><b>ー適正な静脈栄養とその管理ー</b><br>大阪大学国際医工情報センター<br>栄養デバイス未来医工学共同研究部門特任教授<br><span style="float:right">井上 善文</span>                                                                                                               | 10<br>(1.0)<br><br>22<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>宮崎NST研究会<br>◇共催<br>宮崎県プライマリ・ケア研究会<br>宮崎県栄養士会<br>宮崎県病院薬剤師会<br>※(株)大塚製薬工場<br>☎096-359-1808 |
| <b>宮崎県内科医会総<br/>会並びに学術講<br/>演会</b><br>6月10日(土)<br>16:15～19:00<br>宮崎観光ホテル                     | <b>変わる! 医学教育の形, 医師の育ち方</b><br><b>ー医学生・研修医目線でもに学ぶ生涯学習のススメー</b><br>宮崎大学医学部附属病院卒後臨床研修センター長<br><span style="float:right">小松 弘幸</span><br><hr/> <b>心房細動患者に対する抗凝固療法</b><br><b>ー知りたいこと, 聞きたいことー</b><br>香川県立白鳥病院長<br><span style="float:right">坂東 重信</span> | 7<br>(0.5)<br><br>15<br>(0.5)<br><br>32<br>(0.5)<br><br>73<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>◇後援<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                             |
| <b>日向市東臼杵郡医<br/>師会学術講演会</b><br>6月10日(土)<br>16:30～17:40<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館                    | <b>医者と僧侶二足のわらじ</b><br><b>ー生老病死について感じる事ー</b><br>内田医院<br><span style="float:right">栗田 正弘</span>                                                                                                                                                       | 1<br>(0.5)<br><br>0<br>(0.5)                                        | ◇主催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>◇共催<br>日向市東臼杵郡内科医会                                       |
| <b>第77回 宮崎県精神<br/>科医会懇話会</b><br>6月10日(土)<br>17:30～19:00<br>宮崎観光ホテル                           | <b>高齢発症てんかんー診断・治療のエッセンスー</b><br>旭川医科大学医学部精神医学講座教授 千葉 茂                                                                                                                                                                                              | 29<br>(0.5)<br><br>32<br>(0.5)<br><br>35<br>(0.5)                   | ◇主催<br>※宮崎県精神科医会<br>☎0982-37-0126<br>◇共催<br>エーザイ(株)                                             |

| 名称・日時・場所                                                                                                             | 演 題                                                                                    | CC<br>(単位)<br>がん検診            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>平成29年度第1回<br/>日本東洋医学会福<br/>岡・宮崎合同県部<br/>会宮崎中継</b><br>6月11日(日)<br>13:00～16:00<br>宮崎大学医学部<br>附属病院<br><br>参加費:3,000円 | <b>四診による「気の失調」のとらえ方</b><br>米山病院漢方内科                                                    | 15<br>(0.5)                   | ◇主催<br>日本東洋医学会九州支部宮崎県部会<br>◇共催<br>日本東洋医学会九州支部福岡県部会<br>宮崎県医師会東洋医会<br>(連絡先)<br>日本東洋医学会九州支部宮崎県部会<br>☎0985-85-0988 |
|                                                                                                                      | <b>生薬から見る気剤</b><br>飯塚病院漢方診療科                                                           | 83<br>(0.5)                   |                                                                                                                |
|                                                                                                                      | <b>精神科診療所における漢方治療の実際</b><br>佐藤まゆみメンタルクリニック                                             | 70<br>(0.5)                   |                                                                                                                |
|                                                                                                                      | <b>症例検討会</b><br>九州大学医学研究科地域医療ユニット                                                      | 83<br>(0.5)                   |                                                                                                                |
| <b>宮崎市郡内科医会<br/>学術講演会</b><br>6月14日(水)<br>19:15～20:15<br>宮崎観光ホテル                                                      | <b>認知症と体重減少ー抗認知症薬の食欲への影響ー</b><br>平成記念病院リハビリテーションセンター長<br>降矢 芳子                         | 0<br>(0.5)<br><br>29<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎市郡内科医会<br>◇共催<br>小野薬品工業(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                                       |
| <b>第12回宮崎心臓リ<br/>ハビリテーション<br/>セミナー</b><br>6月15日(木)<br>18:50～20:40<br>JA-AZMホール<br>別館                                 | <b>心臓リハビリテーションにおけるトピックス</b><br>北里大学医療衛生学部リハビリテーション科<br>神谷 健太郎                          | 9<br>(0.5)                    | ◇主催<br>※宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119<br>◇共催<br>トーアエイヨー(株)                                                        |
|                                                                                                                      | <b>心腎関連とリハビリテーション<br/>ー心臓リハビリテーションの新たな可能性ー</b><br>東北大学医学系研究科・<br>医学部内部障害学分野教授<br>上月 正博 | 73<br>(1.0)                   |                                                                                                                |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                     | CC<br>(単位)<br>がん検診            | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第174回 宮崎県眼科医会講習会</b><br>6月17日(土)<br>16:20～19:00<br>MRT-micc<br>参加費:3,000円 | <b>大事なその1滴, 眼に入っていますか?</b><br>愛媛大学医学系研究科眼科学教授 浪口 孝治                     | 36<br>(1.0)                   | ◇主催<br>宮崎県眼科医会<br>◇共催<br>ファイザー(株)<br>(連絡先)<br>宮崎県眼科医会事務局<br>(柴田眼科)<br>☎0985-28-1015                     |
|                                                                              | <b>眼炎症疾患－発生機序から考える治療－</b><br>高知大学医学部眼科学教室教授 福島 敦樹                       | 36<br>(1.0)                   |                                                                                                         |
| <b>第116回 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会</b><br>6月19日(月)<br>18:50～20:30<br>宮崎観光ホテル           | <b>重症心不全の治療と管理</b><br>九州大学病院循環器内科診療講師 肥後 太基                             | 15<br>(0.5)                   | ◇主催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>◇共催<br>セント・ジュード・メディカル(株)<br>トーアエイヨー(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119 |
|                                                                              | <b>重症心不全外科治療の戦略</b><br>九州大学病院心臓血管外科教授 塩瀬 明                              | 9<br>(0.5)                    |                                                                                                         |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>6月22日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                      | <b>メンタルヘルス－パーソナリティ障害－</b><br>産業保健相談員・都城新生病院 前原 正法<br><br>生涯研修の専門研修会:2単位 | 1<br>(2.0)                    | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                                |
| <b>児湯医師会学術講演会</b><br>6月22日(木)<br>19:15～20:30<br>ホテル四季亭                       | <b>高尿酸血症Update－ガイドライン改訂に向けた課題－</b><br>製鉄記念八幡病院長 土橋 卓也                   | 9<br>(0.5)<br><br>61<br>(0.5) | ◇主催<br>※児湯医師会<br>☎0983-22-1641<br>◇共催<br>(株)三和化学研究所                                                     |

| 名称・日時・場所                                                                         | 演 題                                                                              | CC<br>(単位)<br>がん機              | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第74回宮崎整形外科懇話会</b><br>6月24日(土)<br>18:00～19:00<br>県医師会館<br><br>参加費:1,000円       | <b>小児整形外科疾患の保存療法と育児指導</b><br>仙台赤十字病院副院長(整形外科主任部長)<br>東北大学整形外科臨床教授 北 純            | 62<br>(1.0)                    | ◇主催<br>宮崎整形外科懇話会<br>◇共催<br>宮崎県整形外科医会<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形科学教室<br>☎0985-85-0986 |
| <b>第134回宮崎県皮膚科懇話会・第17回日本臨床皮膚科医会宮崎県支部会</b><br>6月24日(土)<br>18:00～19:00<br>県立宮崎病院   | <b>急性腎障害と慢性腎障害</b><br><b>ー特に薬剤との関与についてー</b><br>古賀総合病院腎臓内科部長 久永 修一                | 17<br>(0.5)<br><br>66<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎県皮膚科医会<br>◇共催<br>日本臨床皮膚科医会<br>宮崎県支部<br>(連絡先)<br>たじり皮膚科医院<br>☎0985-84-1110            |
| <b>宮崎木曜会創立記念講演会</b><br>6月29日(木)<br>19:30～20:30<br>MRT-micc                       | <b>大腸鋸歯状病変の診断と治療適応</b><br>札幌医科大学医学部消化器内科学講座准教授<br>札幌医科大学附属病院消化器内視鏡センター長<br>山野 泰穂 | 53<br>(0.5)<br><br>54<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎木曜会<br>◇共催<br>※EAファーマ(株)<br>☎092-283-7250                                            |
| <b>第2回宮崎PDT研究会</b><br>6月30日(金)<br>17:30～19:00<br>宮崎大学医学部<br>附属病院<br><br>参加費:500円 | <b>食道癌化学放射線療法後遺残再発に対するPDTの開発と実臨床</b><br>国立がん研究センター東病院消化管内視鏡科長<br>矢野 友規           | 12<br>(0.5)<br><br>15<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎光線力学療法研究会<br>◇共催<br>※Meiji Seikaファルマ(株)<br>☎0985-25-6215                             |

| 名称・日時・場所                                                                                          | 演 題                                                                                                                         | CC<br>(単位)<br>がん検診         | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>平成29年度宮崎県<br/>医師会勤務医部会<br/>総会・前期講演会</b><br>6月30日(金)<br>18:40～20:40<br>県医師会館                    | <b>咬合機能回復</b><br>宮崎大学医学部顎顔面口腔外科学分野教授<br>山下 善弘                                                                               | 0<br>(0.5)                 | ◇主催<br>宮崎県医師会勤務医部会<br>(連絡先)<br>宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                                                                                                                           |
|                                                                                                   | <b>循環器勤務医夫妻の仕事と子育ての両立へのチャレンジ</b><br>枚方公済病院救急科部長<br>竹中 洋幸                                                                    | 1<br>(1.0)                 |                                                                                                                                                                                                  |
| <b>第3回宮崎がんの<br/>リハビリテーショ<br/>ン研修会</b><br>7月1日(土)<br>9:00～17:50<br>7月2日(日)<br>9:00～17:00<br>県立宮崎病院 | (1日目 9:00～11:40)<br><b>がんのリハビリテーションの概要・問題点</b><br>日南市立中部病院リハビリテーション科<br>鈴木 幹次郎                                              | 9<br>(2.5)                 | ◇主催<br>宮崎がんのリハビリテー<br>ション研修会実行委員会<br>◇後援<br>宮崎県<br>宮崎県医師会<br>宮崎県歯科医師会<br>宮崎県看護協会<br>宮崎県理学療法士会<br>宮崎県作業療法士会<br>宮崎県言語聴覚士会<br>(連絡先)<br>宮崎がんのリハビリテーショ<br>ン研修会実行委員会事務局<br>(日南市立中部病院)<br>☎0987-27-1182 |
|                                                                                                   | (1日目 12:30～14:00)<br><b>周術期リハビリテーションー患者評価のポイントと<br/>リハビリテーションの実際ー(脳腫瘍含む)</b><br>宮崎市立田野病院<br>黒木 洋美<br>宮崎善仁会病院理学療法士<br>吉田 裕一郎 | 45<br>(1.5)                |                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                                   | (1日目 14:10～15:10)<br><b>歩行・基本動作障害・ADL・IADL障害に対する対応</b><br>日南市立中部病院理学療法士<br>前田 篤志<br>宮崎県立宮崎病院作業療法士<br>津輪元 修一                 | 19<br>(0.5)<br>62<br>(0.5) |                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                                   | (1日目 15:20～16:20)<br><b>進行がん患者に対するリハビリテーション・アプローチ</b><br>聖隷三方原病院<br>内藤 明美                                                   | 81<br>(1.0)                |                                                                                                                                                                                                  |

| 名称・日時・場所                                                                                          | 演 題                                                                                                           | CC<br>(単位)<br>がん機                                       | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第3回宮崎がんの<br/>リハビリテーション<br/>研修会</b><br>7月1日(土)<br>9:00～17:50<br>7月2日(日)<br>9:00～17:00<br>県立宮崎病院 | (2日目 9:00～10:00)<br><b>心のケアとリハビリテーション</b><br>宮崎大学医学部附属病院精神科 船橋 英樹                                             | 69<br>(0.5)<br>70<br>(0.5)                              | ◇主催<br>宮崎がんのリハビリテー<br>ション研修会実行委員会<br>◇後援<br>宮崎県<br>宮崎県医師会<br>宮崎県歯科医師会<br>宮崎県看護協会<br>宮崎県理学療法士会<br>宮崎県作業療法士会<br>宮崎県言語聴覚士会<br>(連絡先)<br>宮崎がんのリハビリテーシ<br>ョン研修会実行委員会事務局<br>(日南市立中部病院)<br>☎0987-27-1182 |
|                                                                                                   | (2日目 10:10～11:20)<br><b>化学療法・放射線療法の副作用とリスク管理、骨転移<br/>患者への対応</b><br>宮崎市立田野病院 黒木 洋美<br>古賀総合病院理学療法士 黒木 昭仁        | 18<br>(0.5)<br>24<br>(0.5)                              |                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                                   | (2日目 11:30～12:40)<br><b>がん患者の摂食・嚥下障害、コミュニケーション障害、<br/>口腔ケア</b><br>日南市立中部病院言語聴覚士 横山 茂幹<br>宮崎県立延岡病院歯科口腔外科 高森 晃一 | 34<br>(0.5)<br>47<br>(0.5)                              |                                                                                                                                                                                                  |
|                                                                                                   | (2日目 13:30～14:10)<br><b>リハビリテーションにおける看護師の役割(症例検討<br/>含む)</b><br>訪問看護ステーションなでしこ3号館<br>中村 久美                    | 10<br>(0.5)                                             |                                                                                                                                                                                                  |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>7月6日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                                       | <b>メンタルヘルス不調の労働者の事例検討</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>69<br>(0.5)<br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                                                                                                                         |

| 名称・日時・場所                                                                                  | 演 題                                                                                                                                                        | CC<br>(単位)<br>がん機                                                   | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 平成29年度宮崎県<br>外科医会・宮崎県<br>整形外科医会・宮<br>崎県医師会労災部<br>会合同学会<br>7月8日(土)<br>17:00～18:00<br>県医師会館 | 労災・自賠責保険制度の現状と課題について<br>日本医師会副会長 松原 謙二                                                                                                                     | 6<br>(1.0)                                                          | ◇主催<br>※宮崎県医師会労災部会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>宮崎県外科医会<br>宮崎県整形外科医会 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月12日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                                      | ストレスに如何に対処するか<br>産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授<br>鶴 紀子<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                                                         | 1<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>69<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会           |
| かかりつけ医と精<br>神科医－Medical<br>Collaboration<br>Forum－<br>7月14日(金)<br>18:50～20:45<br>KITEN    | 不眠症治療におけるスポレキサントへの期待<br>県立宮崎病院精神医療センター医長 直野 久雄<br><br>内科医からみた不眠症治療(仮)<br>潤和会記念病院名誉院長 鶴田 和仁<br><br>かかりつけ医と精神科医の連携強化のために<br>宮崎大学医学部臨床神経科学講座<br>精神医学分野教授 石田 康 | 70<br>(0.5)<br><br>20<br>(0.5)<br><br>73<br>(0.5)                   | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>宮崎県精神科医会<br>※MSD(株)<br>☎0985-28-9496      |

| 名称・日時・場所                                                         | 演 題                                                                                                          | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                          |
|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 佐土原地区医師会<br>学術講演会<br>7月14日(金)<br>19:00～20:10<br>シーガイアコンベンションセンター | 認知症の人と家族に今できること<br>大分大学総合内科・総合診療科医局長<br>吉岩 あおい                                                               | 29<br>(1.0)                                                       | ◇主催<br>佐土原地区医師会<br>◇共催<br>※小野薬品工業(株)<br>☎0985-61-8123                        |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月20日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館             | まだ化学物質リスクアセスメントをやっていない事業<br>所のための化学物質リスクアセスメントのやり方<br>産業保健相談員<br>西部労働衛生コンサルタント事務所 矢崎 武<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(0.5)<br><br>7<br>(0.5)<br><br>9<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                     |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月21日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館             | 注意すべき精神障害の鑑別診断(Ⅰ)<br>産業保健相談員・西都病院 植田 勇人<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                | 1<br>(2.0)                                                        | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                     |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月27日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館             | メンタルヘルス—ラインケアこんな時どうする—<br>産業保健相談員・都城新生病院 前原 正法<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                         | 1<br>(2.0)                                                        | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                     |
| 学術講演会—便秘<br>治療を考える—<br>7月27日(木)<br>19:00～20:10<br>MRT-micc       | 便秘治療UPTODATE(仮)<br>大分大学医学部消化器内科学講座教授<br>村上 和成                                                                | 12<br>(0.5)<br><br>54<br>(0.5)                                    | ◇主催<br>宮崎県内科医会<br>◇共催<br>宮崎県精神科医会<br>宮崎県外科医会<br>※アステラス製薬(株)<br>☎0985-61-1537 |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                                                                                                                                                                                    | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                                     | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                      |
|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>8月3日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館              | <b>長時間労働者の面接指導</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                                                                                                                                    | 1<br>(0.5)<br>5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)                                 | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>第28回宮崎リウマチ医の会</b><br>8月5日(土)<br>15:00～18:10<br>MRT-micc<br>参加費：1,000円 | <b>メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の基礎と臨床</b><br>埼玉医科大学総合医療センター血液内科教授<br>得平 道英<br>.....<br><b>薬物療法の進歩の速さに負けない、リウマチ関節外科治療の進歩のために考えること</b><br>大阪南医療センター免疫疾患センター部長<br>橋本 淳<br>.....<br><b>自己炎症症候群とリウマチ・膠原病疾患との接点</b><br>久留米大学医学部呼吸器・神経・膠原病内科教授<br>井田 弘明 | 19<br>(0.5)<br>22<br>(0.5)<br>25<br>(0.5)<br>28<br>(0.5)<br>61<br>(0.5)<br>73<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎リウマチ医の会<br>◇共催<br>※旭化成ファーマ(株)<br>☎0985-28-2736  |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>8月9日(水)<br>19:00～21:00<br>県医師会館              | <b>事例でみる職場巡視のポイント</b><br>産業保健相談員<br>谷山 ゆかり<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                                                                                                                                           | 1<br>(2.0)                                                                             | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |

| 名称・日時・場所                                                                             | 演 題                                                                                    | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                   | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>8月22日(火)<br>14:30～16:30<br>県医師会館                         | <b>作業環境関連疾患(腰痛・VDT障害)の予防と悪化防止</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 11<br>(0.5)<br><br>12<br>(0.5)<br><br>37<br>(0.5)<br><br>60<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>8月24日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                         | <b>メンタルヘルス－事例検討会－</b><br>産業保健相談員・都城新生病院<br>前原 正法<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                 | 5<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>69<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5)  | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| <b>宮崎県臨床整形外<br/>科医会学術講演会</b><br>8月25日(金)<br>19:15～20:30<br>宮崎観光ホテル<br><br>参加費：1,000円 | <b>痛みに対する実践的薬物治療戦略</b><br>東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部准教授<br>住谷 昌彦                               | 60<br>(0.5)<br><br>61<br>(0.5)                                       | ◇主催<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>◇共催<br>※ファイザー(株)<br>☎092-281-7031  |

医療勤務環境改善支援センターを

## 診療メモ

## AMR(薬剤耐性)について

県立宮崎病院 内科・感染管理科 やま なか あつ し  
山 中 篤 志

## はじめに

最近の感染症分野のトピックスとしてはエボラウイルス感染症やMERSのアウトブレイクを思い浮かべる方も多いと思います(宮崎県としてはSFTS(重症熱性血小板減少症候群)でしょうか)。意外に思われる方も中にはいらっしゃるかもしれませんが、2016年G7伊勢・志摩サミットでも議題に挙げられたりと、世界的にはこれら以上に耐性菌の脅威が喫緊の課題となっております。

## Antimicrobial Resistance : AMR(薬剤耐性)

AMR(薬剤耐性)という言葉を目にしたことはありますか?現代医療において抗菌薬は重要な役割を果たし続けております。しかしながら近年、さまざまな耐性菌が出現、拡大しており世界的に問題となっており、国内においても様々な耐性菌による医療関連感染症が広がり問題となっています。最近ではカルバペネム耐性腸内細菌の拡大も危惧されており、この耐性菌はすでに海外では蔓延し問題となっている国も少なくありませんし、最後の切り札と考えられているコリスチンにも耐性の細菌も見つかっております。耐性菌が出現、広がるのであれば新規の抗菌薬が出るのを期待して待っておけばよいのではと思われるでしょう。しかしながら抗菌薬の開発は残念ながら世界的にはほぼ滞っており、今後しばらく新薬は期待できない状況で現在使用できる抗菌薬でやりくりして

いかなければならないのが現状です。戦況としては少し前まではヒトは抗菌薬という技を身に付けて優勢であったのが、今では耐性菌から技をかわされ土俵際に追い込まれているという感じでしょうか。この全世界的な危機的状況を受けて、2015年に開催されたWHO総会では薬剤耐性(AMR: Antimicrobial Resistance)対策に関するグローバルアクションプランが採択され、これを受けて日本でも2016年に薬剤耐性(AMR)対策アクションプランが策定されました。このアクションプランでは①AMRの普及啓発・教育、②耐性菌の動向調査・監視、③感染予防・管理、④抗菌薬(抗微生物薬)の適正使用、⑤抗菌薬の研究開発・創薬、⑥国際協力の6つの分野で目標が設定されています。様々な耐性菌が出現し拡大している原因としてはやはり人為的なもので、世界的な抗菌薬の不適切使用、グローバル化による国際間での移動の活発化によると考えられます。この中で特に抗菌薬の適正使用については、AMRとして臨床の現場で医療従事者及び患者を含む医療に関わる全ての者が対応すべき最重要の分野とされています。このアクションプランの特徴としてヒトのみならず、家畜をはじめとする動物や環境衛生の関係者が連携して対策に取り組むべきであるといった“One Health”の理念をもとに環境全体としてAMR対策を立てていることが挙げられます。

### Antimicrobial stewardship program : ASP (抗菌薬適正使用支援プログラム)

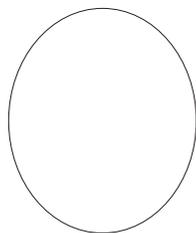
実際の臨床現場におけるAMRへの対策としては、耐性菌を拡げない、適切に抗菌薬を使用することを実践する必要があります。抗菌薬適正使用支援プログラム(Antimicrobial stewardship program : ASP)とは院内で横断的に抗菌薬の適正使用に取り組み、最大限の治療効果を導き、有害事象を最小限にとどめ、早期に治療を完了することとされており、耐性菌を広げないための感染対策についてはICT(感染制御チーム)が普及し感染対策防止加算により一部の施設では費用面でのサポートも整備されてきました。適切な抗菌薬使用については患者に対して適切に抗菌薬が使用されているか監視・支援するプログラム(ASP)、そのプログラムを実行する医師、薬剤師などで構成されるチーム(Antimicrobial stewardship team : AST)が整備される必要があるとされていますが、日本はまだまだ出遅れています。ICTのある医療機関では抗菌薬使用については抗MRSA薬やカルバペネム系抗菌薬をはじめとする広域抗菌薬の点滴抗菌薬については管理され、ASPのごく一部分はICTが行っていますが、積極的な介入やその他の点滴抗菌薬の管理・介入までは行き届いていない施設がほとんどと思われます。経口抗菌薬については大きな病院から診療所に至りほぼ適正使用についての支援がされていないのが現状と思われ、ここもAMRの問題点の一つでもあるとされます。経口抗菌薬については諸外国との比較から、日本では特に経口

第3世代セファロスポリン系抗菌薬、フルオロキノロン系抗菌薬、マクロライド系抗菌薬の使用量が多いことが指摘されています。政府のプランにおいては2020年までに抗菌薬全体として33%減(対2013年比)、静注抗菌薬は20%、そしてなんと前述した3種類の経口抗菌薬の使用量は50%削減することが目標とされています。米国では処方された抗菌薬の3割程は不適切使用とされており、日本でもかなりの割合で不適切な使用と推測されていることからの目標と思われます。実際の例を挙げると感冒をはじめとする急性上気道感染症や急性下痢症の大部分の症例では抗菌薬は不要とされています。

### おわりに

今の臨床現場で仮に抗菌薬を失ったならと想像するとゾッとしますが、「抗菌薬なき世界」が現実となる可能性も指摘されています。感染症診療の特徴で、かつ難しいところは個と団体の利益、不利益を天秤にかけなければならないところにあると思います。薬剤耐性がなければ、とりあえずや念のための抗菌薬投与でもよいかもしれません。しかしながら実際はこのような抗菌薬投与の積み重ねも世界的にヒトが微生物に追い詰められてきた一因と思われます。世界的な耐性菌の脅威に対しては大変地味ではありますが、やはり日常診療にて不要な抗菌薬の処方止める、抗菌薬にて治療する場合は適正に使用するというようにメリハリをつけることではないでしょうか。かぜ≠抗菌薬、発熱≠抗菌薬、抗菌薬≠解熱剤。

## 宮大医学部学生のページ



## 議員インターンシップについて

宮崎大学医学部医学科4年 <sup>いずみ</sup>泉 <sup>ま</sup>摩 <sup>い</sup>依

2月から3月の2か月間、春休みの期間に、清山知憲県議会議員のもとで議員インターンシップに参加させていただきました。議員インターンシップとは、大学生が夏休みや春休みなどの長期休暇の2か月間、議員のそばに付いて仕事の見学や一緒に調査をしたり、事務所での裏方作業を体験するプログラムで、これを通して議員の仕事内容や政治に対する思いを知り、また政治と社会のつながりを学ぶことを目的としているものです。学部学年に関わらずあらゆる学生が参加可能で、今回私が参加した際も、同じ事務所では宮崎大学農学部1年生(当時)と、同工学部3年生(当時)と一緒にインターンに取り組みました。

参加したきっかけは、宮崎大学でのインターンシップ説明会の開催を、清山議員が案内してくださったことでした。政治等について学ぶ機会は医学部のカリキュラム上ではほぼなく(組み入れる余裕もなく)、またこれまで私自身が新聞等から社会の情報を得ようとしていなかったため、社会のことをあまりにも知らない状況があり、そのことになんとなく危機感を持っていました。また、医療現場では病院業務から介護保険制度・地域医療政策など、政治・行政的要素が自分たちの将来の仕事に大きく関わらるだろうと想像される中で、この領域を自分自身で学ぼうとするのはハードルが高く、なかなか主

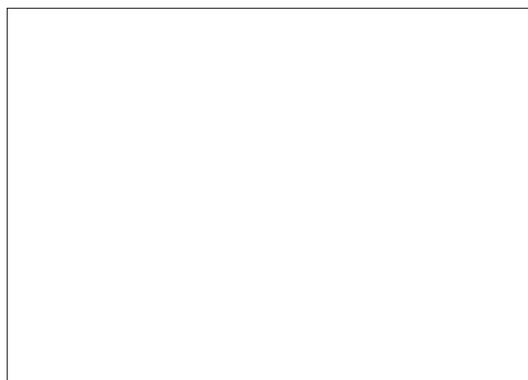
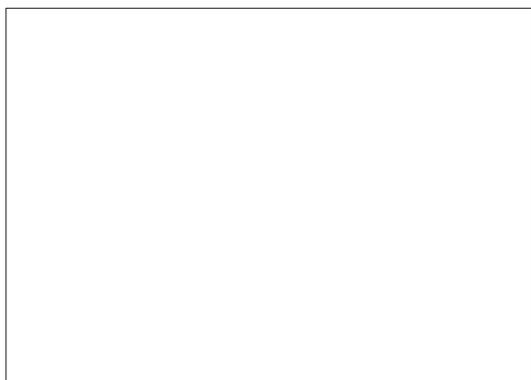
体的に取り組むことが出来ていませんでした。そんな折にこのプログラムの案内を見て、この機会を利用すればある意味“義務的”に、また実体験としてより深く身につく学びができるのでは、と思い参加することしました。

実際に参加してみて得た学びは、自分の想像を遥かに超えて大きいものでした。インターンシップでは、県議会の傍聴、議員の一般質問作成に関する資料集め、チラシ配り・ポスティングや議員の地域報告会の司会、様々な国会議員・県内議員の方々の講演会出席や交流、都庁の見学など、学生という立場にありながら非常に貴重な経験を数多くさせていただくことができました。知らなかった人・世界に出会い視野が大きく広がったのを、今も強く感じています。また、医療政策についてはもちろんのこと、普段は全く関わりのない宮崎の「教育」「畜産」「観光」「経営」などあらゆる分野の政策について生じている問題、議員がそれらに対してどのように考え取り組んでいるのかを間近に見聞きし、これだけの様々な要素がこれから自分が社会で関わっていく人々の背景にあること、そして、それについてとても無知であったことを痛感しました。何より、議員が「宮崎をいかによくしていくか」「医療や教育を整え、住みやすい環境をつくっていくか」を真摯に考え、議員同士、行政職員、一般市民の方々とともに課題

解決に向けて真剣に議論するその姿勢に大きく感銘を受けました。

「政治」という現場で、宮崎の住民の幸せを考え、多様で難しい課題に立ち向かう人がこんなにもたくさんいるのだということ、政治が身近なものであるということが感じられ、場所は違

えど、自分がこれから何を心の軸にして過ごしていきたいか、深く考えさせられた2か月間で学んでいる分野にかかわらず、もっと多くの学生にこのインターンシップに参加してほしいと強く思います。



## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00、土曜日 10：00～18：00

休館日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14日～15日、特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

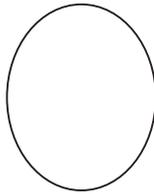
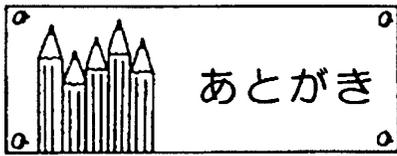
TEL 0985-22-5118 E-mail : tosho @ miyazaki.med.or.jp

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)までご連絡ください。

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月8日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬の「使用上の注意」改訂の周知について</li> <li>・医療事故情報収集等事業第48回報告書の送付について</li> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> <li>・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第16回集計報告」の周知について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4月11日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針を策定する件について</li> <li>・シンポニー皮下注50mgの効能・効果等の変更に伴う留意事項通知の一部改正について</li> <li>・検査料の点数の取扱いについて</li> <li>・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤(オプジーボ点滴静注)に係る最適使用推進ガイドライン(頭頸部癌)の策定に伴う留意事項の一部改正について</li> <li>・抗PCSK9抗体製剤(レパーサ皮下注及びプラルエント皮下注)に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 4月14日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針等について</li> <li>・平成29年度新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業の実施等について</li> <li>・国民健康保険保険者が実施する保健事業に関する医療機関との連携について</li> <li>・第29回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」(平成29年7月15日～16日)の開催について</li> <li>・指定難病の追加並びに診断基準及び重症度分類等の改正等について</li> <li>・かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業の実施について</li> <li>・最近の学校保健行政について</li> <li>・医療計画について</li> <li>・医療提供体制の確保に関する基本方針、医療法施行規則(医療計画関係)、並びに療養病床及び一般病床に係る基準病床数の算定に使用する数値等の改正について</li> <li>・医療法施行規則の一部改正等について(有床診療所の病床設置にかかる改正について)</li> <li>・蜂蜜を原因とする乳児ボツリヌス症による死亡事案について</li> <li>・入院時生活療養費の見直しについて</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul> |
| 4月17日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新生児聴覚検査体制整備事業」に対する協力について</li> <li>・産婦健康診査事業の実施に当たっての留意事項について</li> <li>・ソホスビル製剤の製造販売後調査及び適正使用への協力をお願いについて</li> <li>・フォロデシン塩酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4月18日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故の再発防止に向けた提言第1号の公表について</li> <li>・日本准看護師連絡協議会研修会(福岡県)について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 4月20日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故の再発防止に向けた提言第1号の公表について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 4月21日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療の提供に係る事業費補助金交付要綱の改正について</li> <li>・日本医師会認定産業医制度実施要領の改定について</li> <li>・建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止の実施について</li> <li>・肝疾患に関する診療体制及び肝疾患患者に対する支援体制の整備について</li> <li>・「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」の普及について</li> <li>・『指定介護老人福祉施設等の入所に関する指針について』の一部改正について』の送付について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

| 送付日   | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月21日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりに資する事業の一体的な実施について</li> <li>・「認知症施策等総合支援事業の実施について」の一部改正について</li> <li>・平成29年度第48回全国学校保健・学校医大会の開催について</li> <li>・肝疾患に関する診療体制及び肝疾患患者に対する支援体制の整備について</li> <li>・障害者総合支援法の対象となる疾病の見直しについて</li> <li>・エピペン注射液0.3mg自主回収(クラスⅠ)について(追加回収)</li> <li>・「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改訂について</li> <li>・消防庁「平成28年度救急業務のあり方に関する検討会」報告書等について</li> <li>・高齢者等に対する配食サービスにかかるガイドラインの発出等について</li> <li>・各がん検診実施機関等登録(指定)について</li> <li>・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行令第80条第2項第5号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する医薬品の種類等の一部を改正する件について</li> </ul>                                                                                                                                                                          |
| 4月24日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年熊本地震に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4月25日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度看護力再開発講習会開催について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4月27日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.125」の提供について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4月28日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医師会会費減免の手続き及び会費減免をうけるA①、A②(B)、A②(C)会員の医賠償保険加入の手続きについて</li> <li>・平成29年度日本医師会会費徴収について</li> <li>・「障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業の提供体制の整備並びに自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」の全部改正について</li> <li>・緊急度判定支援ツール(救急情報シート)の周知について</li> <li>・小児慢性特定疾病の追加について</li> <li>・健康増進事業実施要領の一部改正について</li> <li>・油症患者受療券の利用可能医療機関の拡大に関する協力依頼について</li> <li>・平成29年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について</li> <li>・事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインの送付について</li> <li>・粉じん障害防止規則及びじん肺法施行規則の一部を改正する省令の施行について</li> <li>・都道府県における地域の実状に応じた難病の医療提供体制の構築について</li> <li>・平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(中小事業者による排出量算定・排出量削減のための環境経営体制構築支援事業)参加事業者の募集について</li> <li>・個人情報保護委員会・厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」について</li> </ul> |
| 5月1日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用上の注意」の改訂について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 5月2日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度宮崎県防災訓練大綱について</li> <li>・医師会主催の研修会等への託児サービス併設費用補助について</li> <li>・融雪出水期における防災態勢の強化について</li> <li>・3歳児健康診査における視力検査の実施について</li> <li>・災害拠点病院指定要件の一部改正について</li> <li>・「要支援児童等(特定妊婦を含む)の情報提供に係る保健・医療・福祉・教育等の連携の一層の推進について」の一部改正について</li> <li>・平成29年度における医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5月6日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険医療機関等の新規指定時における社会保険及び労働保険の適用状況の確認について</li> <li>・医師国保組合への加入についての留意事項</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 5月9日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤(オプジーボ点滴静注)に係る最適使用推進ガイドライン(腎細胞癌及び古典的ホジキンリンパ腫)の策定に伴う留意事項の一部改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 5月10日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」の一部改正について</li> <li>・「健康経営優良法人2017」追加認定について</li> <li>・日本准看護師連絡協議会研修会(福岡県)について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |



慶應義塾大学の研究グループが、「お酒に弱いと骨折リスクが2.48倍」という衝撃の研究結果を発表しました。整形外科医の中で都市伝説のように思われていたことが、ほぼ証明されたことになります。最近TVのニュースでも、血液型の違いで癌や認知症のなりやすさが違うと報道されていました。血液型は占いや性格診断のためにあるわけもなく、遺伝子の違いが分かりやすく表れているだけです。なん

らかの意味はあるとは思われていましたが、遺伝子分析で続々と解明されてきています。こんなニュースを見るたびに、約20年前に観たSF映画を思い出します。遺伝子の優劣で職業が決まり、交際相手の毛根をこっそり入手して遺伝子の良し悪しで結婚を決める。当然その世界では自然妊娠はありません、最も優れた遺伝子を持つ精子と卵子で受精卵が作られます。主人公はその世界では稀な自然妊娠で生まれ、欠陥だらけの遺伝子の持ち主として最底辺の立場から物語が始まります。興味がある方はレンタルショップのSFコーナーで「ガタカ」というタイトルを探してみてください。今見ても古臭くなくおもしろいと思いますよ。一時話題になった出生前診断で、胎児がダウン症と診断された母親のほとんどが中絶したそうです。健康な子どもを希望するのは自然なことかもしれません。しかしより健康的で、より遺伝子的に優れてと欲望に歯止めをかけることができるのでしょうか。映画のような世界が予想以上に早く近づいているのかもしれない。

(岡本)

\* \* \*

子どもが通っていた幼稚園のPTAで結成された合唱団に入って6年が過ぎた。少しは上達したか、合唱というものがわかってきたかは甚だ疑問だが、一つだけわかったことがある。ボイストレーニングを受けた時、お腹から声を出すことを学んだのだ。のどに力を入れないでお腹に力を入れる。すると、声もよく通るし、高音もある程度は出せる。子どものミニバスケットの応援でも活用している。健康にもいいと思うので、皆様にもお勧めします。(山崎)

\* \* \*

やっと花粉の季節も終わり、風薫るさわやかな季節となりました。

朝晩は、まだ少し肌寒いこともあります。昼間は、気温が高く暑いので、体温調節を大変難しく感じます。通勤途中で聞くラジオでは、すでに、熱中症対策として、こまめに水分を取りましょう、ということをよく耳にします。今年の5月は、すでに、例年に比べると気温は高めだということです。

いよいよ梅雨がやってきます。体調管理に気をつけながら、楽しく梅雨を乗り切ろう！と思いました。(上山)

\* \* \*

先日、弓道の昇段審査を受講しました。私が受講した四段は、宮崎県内では着物を着用した上で行われるため、それまで受講した審査形式とは異なり動き方(弓道では体配と呼びますが)を身につける必要がありました。病院実習もあり、不規則な時間の中で練習時間を確保し、練習内容を工夫することがとても大変でしたが、思った以上に密度の濃い練習をすることができたと思います。結果はダメでしたが、忙しい中でもやる気と工夫次第できちんとした結果を出せるということを学んだよい機会となりました。今後の勉学でも、今回の教訓を生かすことができた、と思います 笑 (柴野)

\* \* \*

先日福岡の大川家具・木工祭りに行ってきました。大きめのダイニングテーブルを探しにいったのですが、そこで一枚の大きな板に目が止まりました。樹齢4~500年のアフリカンチェリーの中心部の一枚板で、その重厚な厚み、上品な木目、色調、まさに一目惚れで、その場で衝動買いしてしまいました。上質な一枚板で作ったテーブルは、その樹齢と同じくらい長持ちするそうで、今後、子や孫に引き継がれていくかも知れないと思うとワクワクしてきます。根気強い値引き交渉の末、何とか2桁に収まったこともあって、とても満足できる買い物になりました。(稲倉)

\* \* \*

今年度より広報委員に参加させていただきます。2年間どうぞよろしく願いいたします。

宮大医学部では医学科4年生と看護科2年生が幹部学年として音楽祭、学園祭などの学校行事の企画や運営にあたります。今年も着々と準備が始まり、授業・部活動との両立や意見の衝突など大変なこともあります。本番の成功を目指してみんなで取り組んでいます。6月10日には医学部音楽祭が清武文化会館にて開催されます。皆さんぜひ足をお運びください。(泉)

\* \* \*

くも膜下出血を発症し、救急車で搬送された経験のある財界人の講演を聞く機会がありました。その中で救急車をタクシー代わりに使うことへの対策として、有料にしてはどうかとの提言がありました。外国では救急車は有料であるのが一般的で、アメリカで2万~2万5千円、ヨーロッパで1万~2万円、アジアで5千~1万円とのこと。確かに無料であれば利用しないと損という考えになり、モラルが麻痺するのかもしれない。(佐々木)

\* \* \*

## 今月のトピックス

### 宮崎大学医学部だより 外科学講座

旧来の第1外科、第2外科は統合され、平成27年4月より外科学大講座として運営されています。先月号につづき今月は肝胆膵外科学分野、消化管・内分泌・小児外科学分野、形成外科学分野の紹介です。 13ページ

### 「はまゆう随筆」原稿募集

多くの読者が楽しみにしている毎年恒例の「はまゆう随筆」です。題材は自由ですので多くの方々からの投稿をお待ちしております。 17ページ

### 診療メモ AMR(薬剤耐性)について

「2050年以降には耐性菌によって世界で年間1,000万人が死亡する恐れがある」というショッキングな報告書がエコノミストのジム・オニール氏によって発表されたことは記憶に新しいと思います。不要な抗菌薬をしかも長期に使用することは慎まなければなりません。AMR(薬剤耐性)について、山中篤志先生に詳しく解説していただきました。 68ページ

### 宮大医学部学生のページ 議員インターンシップについて

欧米と比べ日本人の政治への感心は低いとよく耳にします。特に若年層の関心は低く、総務省よると平成26年の衆院選では、20歳代の投票率は32.58%と60歳代の半分でした。

そんな昨今、春休みの2か月間を議員インターンシップに参加した泉摩依さん。今後の人生を左右する体験だったことが文章ににじみ出ています。 70ページ

日 州 医 事 第814号(平成29年6月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副委員長 西田 隆昭, 岡本健太郎  
委 員 中村 豪, 野村 勝政, 馬場 萌子, 二見 旬祐  
山崎 俊輔, 稲倉 琢也, 上山 貴子, 柴野 雅資, 泉 摩依  
担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 立山 幸恵, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)